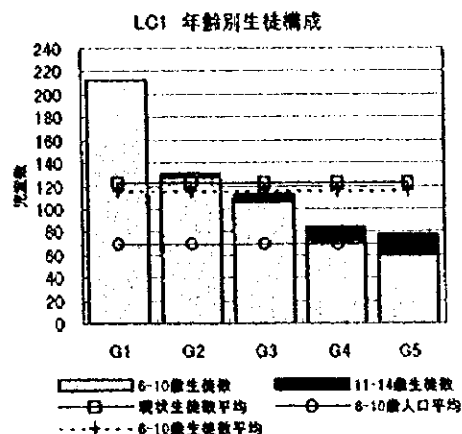


Commune		School (本・分校合計)	
面積	22.0km <sup>2</sup>	生徒数合計	616人
人口	2,910人	教員数	26人
人口密度	132.2人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	na	純就学率	168%
少数民族比	89%	退学率(平均)	33%
主要少数民族	Thai(57%)	留年率(平均)	16%
	Ha Nhi(24%)	過剰児比率	6%
	Kinh(11%)	女子比率	45%



地域状況

- ・ Moug Te 郡の郡都、省都から200kmの遠隔地。最貧困1000村に該当。
- ・ 国道が東西に横断しており、(旧)市街地はこの国道沿いに形成されている。近年、市域が拡大され、中央寄りに新市街地の開発が進められている。
- ・ 国道沿いから離れた北部山間地は交通アクセスの絶たれた遠隔地。

学校運営状況

- ・ 本校及び4分校からなる。本校は隣村から多数の越境通学者(全生徒数の1/3)が通う大規模校である。現在小中併設で小学校の新市街地への移転と周辺2分校の統合が要請されている。
- ・ 市街地周辺の1分校は不完全校で高学年生徒が本校に通学している。もう1分校は完全校。
- ・ 北部山間地にある2分校はともに不完全校。本校へのアクセスが不便で高学年の通学は少ない。
- ・ 対象分校(Nam Cau A)は隣村からの越境通学者がいる。

教育効率

- ・ 純就学率は越境通学生が多く100%を超える。
- ・ 生徒数はG1→G5で大きく落ち込み低学年に生徒が偏在している。過剰児の比率は低く、徐々に生徒構成が平準化していくと期待される。
- ・ 退学率が高く、上級学年へのアクセス改善によって進級率を高めることが課題である。

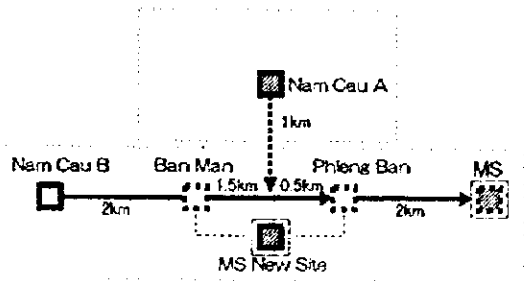
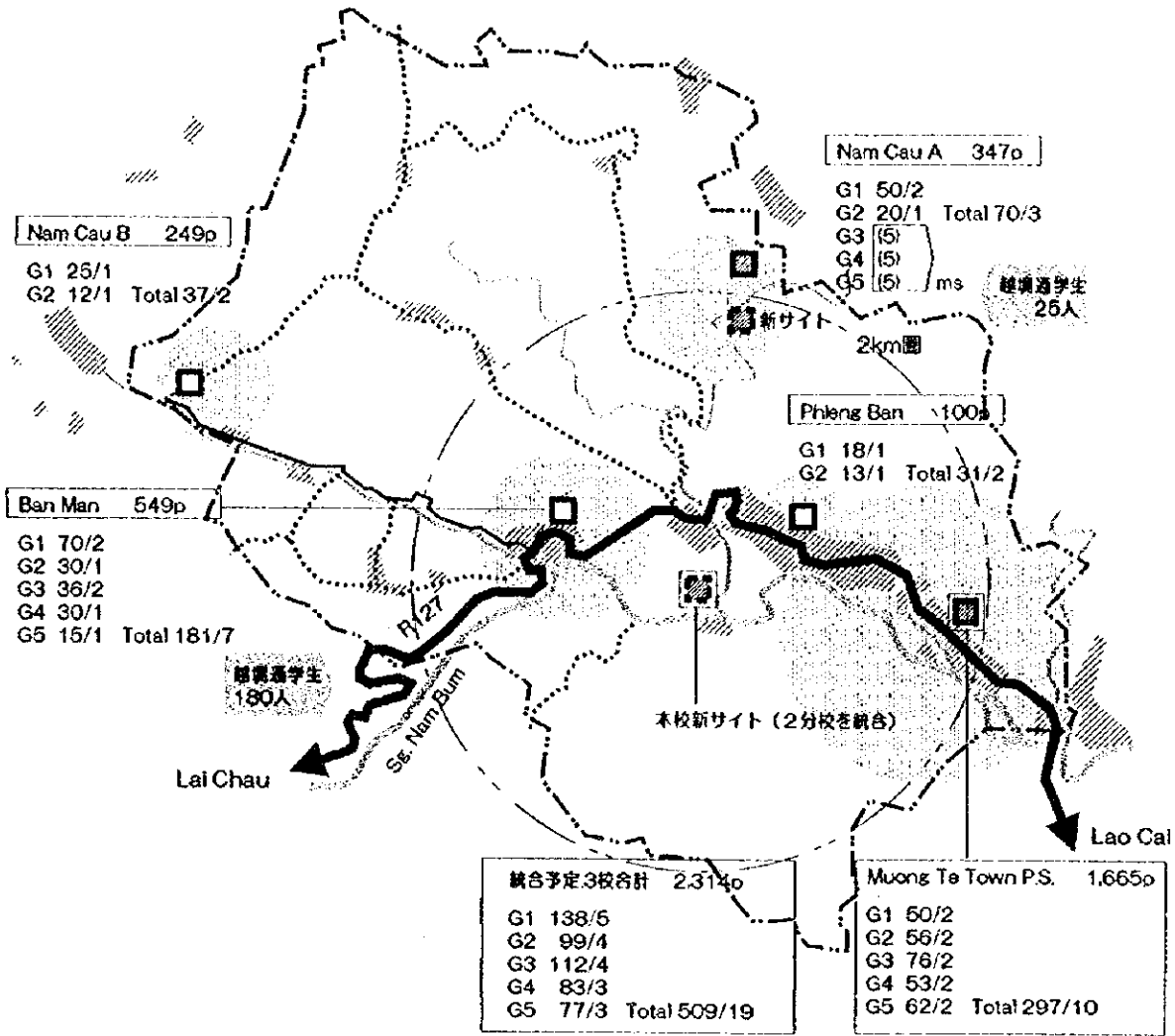
サイト状況

- ・ 本校は新たに区画整理の進む新サイトであり、周りは未利用地または水田である。
- ・ 対象分校は既存敷地のアクセスが困難であり、アクセスの容易な新サイトが用意されている。

計画の考え方

- ・ 本校は移転・統合により施設環境及び教育効率の改善が期待でき、要請に沿った整備が妥当である。
- ・ 対象分校は完全校として整備することで、村境辺りの遠隔地児童の上級学年へのアクセスを改善する。

LC 1 Muong Te Town P.S.

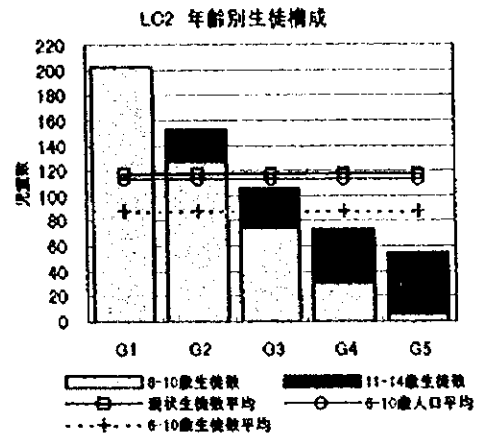


学校名	通学圏人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms:本校

- コミュン/学区境界
- 幹線道路
- 道路(車両通行可)
- 道路(車両通行不可)
- ..... 主要河川
- //// 既存美道
- 本校
- 対象分校
- その他分校

通学圏人口  
 100人

Commune		School(本・分校合計)	
面積	57.43km <sup>2</sup>	生徒数合計	587人*
人口	8,282人*	教員数	33人
人口密度	144.2人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	6.67人	純就学率	76%
少数民族比	98.5%	退学率(平均)	12%
主要少数民族	Thai(92%)	留年率(平均)	7%
	H'mong	過齡児比率	27%
		女子比率	32.0%
* 対象校学区は3,188人		* 寄宿生 6人	



地域状況

- 郡都 Tuan Giao の南15kmに位置し、北部 Hua 川流域の水田地帯以外は標高1000mを超える山地となっている。
- 標高の低い平坦地に Thai 族が比較的高い密度で居住し、南部山間の集落では H'mong 族が主体となっている。

学校運営状況

- 対象校は村南部を学区としており、北部は他校(B.Lay 小学校)の学区となっている。
- 山間部に4分校(運営上は3分校)を持ち、低学年のみの運営が行われている。上級学年の一部は周辺民家に寄宿し(寄宿舎倒壊のため)本校へ通学している。
- 対象分校である Ban Vanh 校は'89に竜巻で倒壊しており、現在は本校に統合された状態にある。
- 本校は Thai 族 100%で、一部全日制を実施している。

教育効率

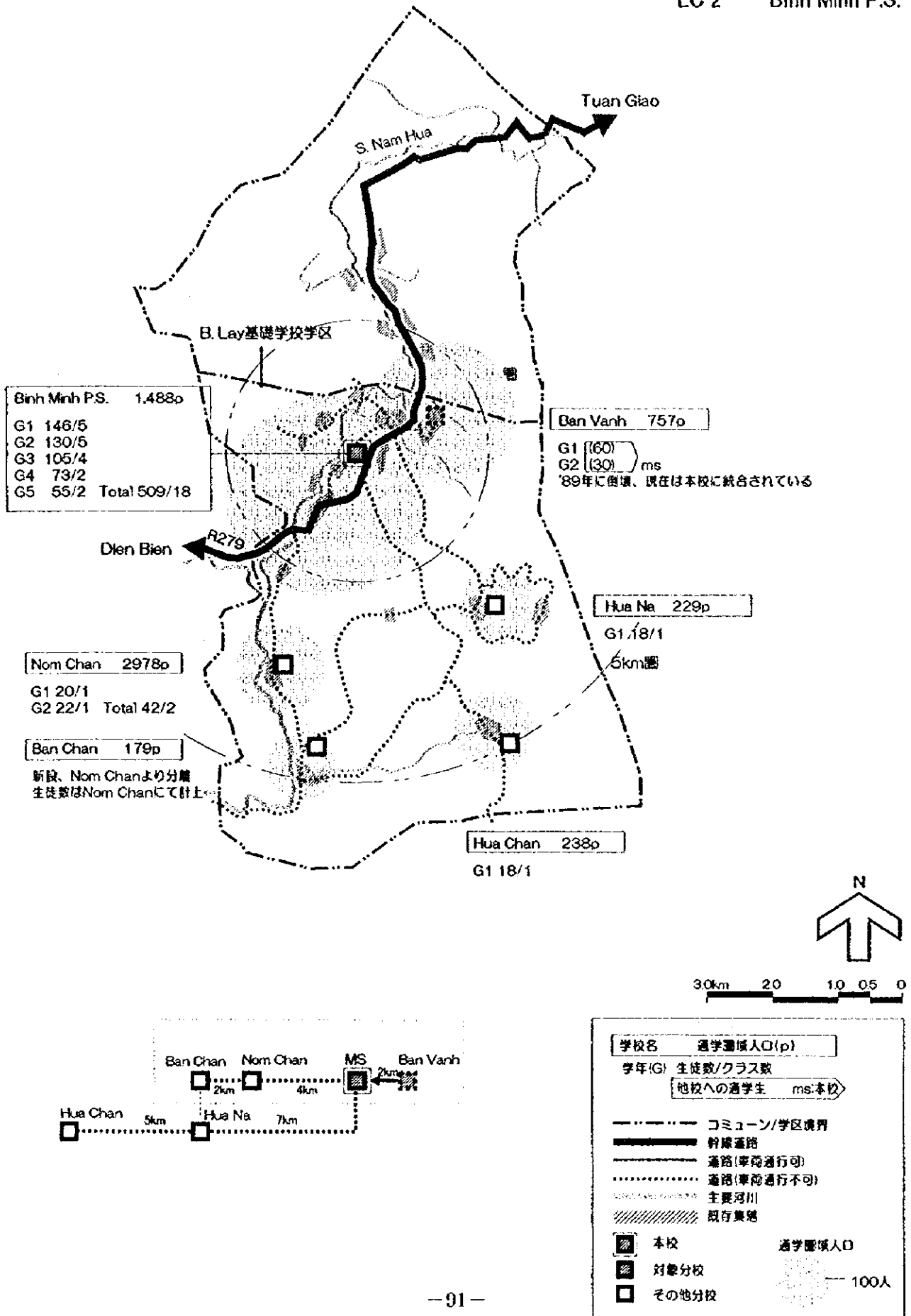
- 過齡児が約3割を占め、生徒数は学年が進むに連れ漸減傾向にある。
- 退学・留年は比較的少ないが、就学率が低く、改善が期待される。
- 女子比率が低く、早婚や家庭内就業等の地域事情も就学・進級の障害となっていると考えられる。

サイト状況

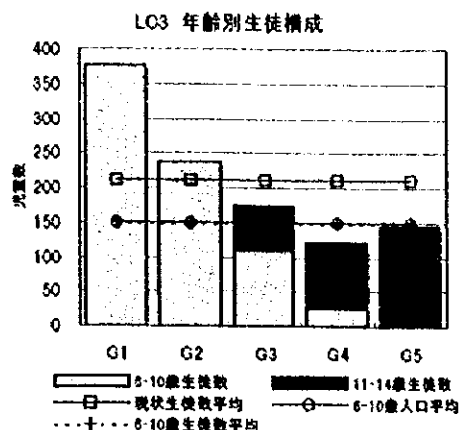
- 本校は国道 279 号沿いにありアクセスは良好。管理棟以外の全ての施設が萱葺きの仮設建家で教員住居を併設している。
- 対象分校サイトは国道から未舗装路を入った畑地で、アクセスの改良が必要である。

計画の考え方

- 本校は劣悪な施設環境改善の面で緊急な建替えが必要で、通学可能圏分校の上級学年分を考慮した整備が適当である。
- 対象分校は現在本校へ統合されていること、低学年で本校通学圏内にあることから、現状のまま本校側の施設整備に含めることが適当である。



Commune		School(本・分校合計)	
面積	68.00km <sup>2</sup>	生徒数合計	1,051人*
人口	6,875人	教員数	47人
人口密度	101.1人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	6.90人	純就学率	99%
少数民族比	95.7%	退学率(平均)	18%
主要少数民族	Thai(57%)	留年率(平均)	15%
	H'mong(36%)	過齡児比率	29%
	Kho Mu	女子比率	37.6%
		* 寄宿生 91人	



地域状況

- ・ 省都から北へ140kmの山間に位置し、北端の一部が郡都 Tua Chua となっている。
- ・ 中心部の比較的なだらかな高地(標高約 800m)を取り囲んで山間に小集落が点在している。
- ・ 人口は Thai 族が約 6 割を占め、高地に H'mong 族が分布している。

学校運営状況

- ・ 本校は国道沿いにある大規模校で、背後の山間に6分校、道路を超えた北側の山間に2分校、計8分校を抱える。その他省略カリキュラムによる制度外教育のみを行っている3分校も設置されている。
- ・ 分校は対象分校を除き1997年以降の設立で低学年のみが設置されており、本校への通学生は無い。上級学年への進級は寄宿での対応で、本校に寄宿舎が設置されている。
- ・ 現状生徒数から見て地区外(Tua Chua 町部)からの越境通学があることが想定される。

教育効率

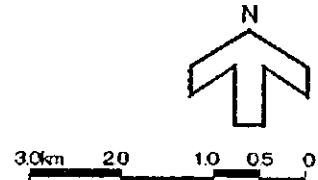
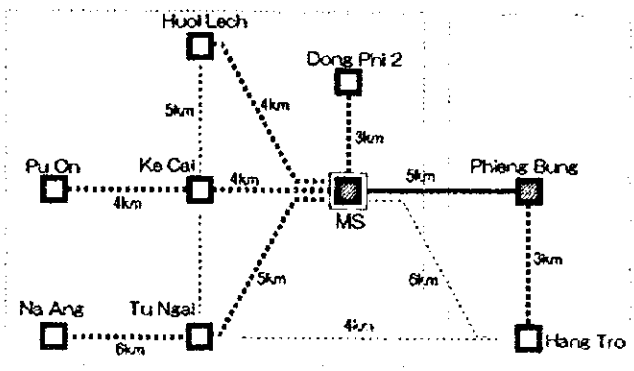
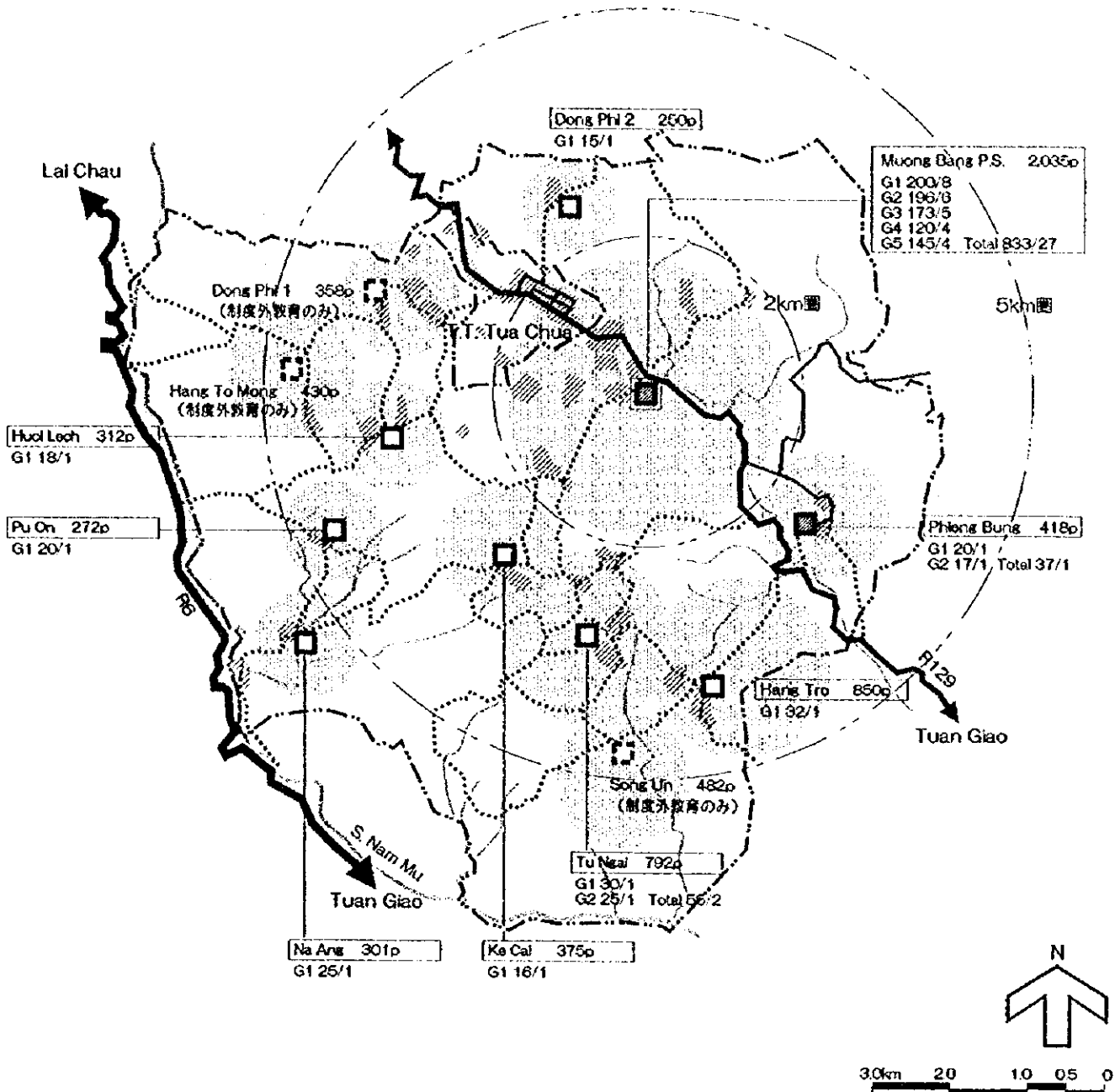
- ・ 過齡児が約3割を占め、生徒数は学年が進むに連れ漸減傾向にある。
- ・ 純就学率は地区外からの児童がありほぼ 100%であるが、聞取りでは総就学率で 9 割を切る。
- ・ 女子比率は低く、早婚や家庭内就業等の地域事情が就学・進級を阻害する一要因になっている。

サイト状況

- ・ 国道からの分岐後は悪路で特に雨期の通行困難が予想される。
- ・ 本校は寄宿舎と教員住居を備え、約半数が木造仮設教室、レンガ造のものも傷みが激しい。
- ・ 対象分校は斜面の狭小敷地に建ち、近年建設されたレンガ造校舎を備える。

計画の考え方

- ・ 本校は劣悪な施設環境改善の効果が大き、通学可能な分校の上級学年分を考慮した整備が適当である。
- ・ 対象分校は他の1分校からの通学が可能で準本校としての整備効果が期待されるが、既存の利用可能教室があり、整備の緊急性は高くない。



学校名	通学圏域人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms:本校

- コミューン/学区境界
- 幹線道路
- 道路(車両通行可)
- 道路(車両通行不可)
- 主要河川
- /// 既存東路

Symbol	Meaning
■	本校
■	対象分校
□	その他分校

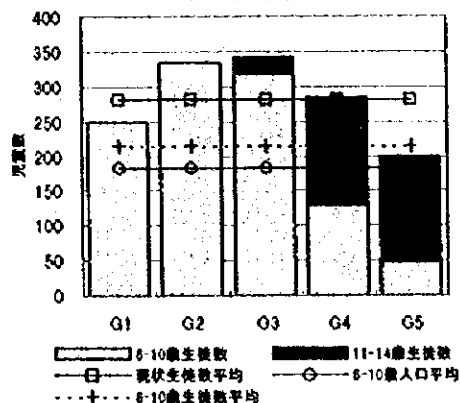
  

通学圏域人口

100人

Commune		School(本・分校合計)	
面積	13.47km <sup>2</sup>	生徒数合計	1,407人
人口	7,170人	教員数	64人
人口密度	532.3人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	4.60人	純就学率	118%
少数民族比	38.0%	退学率(平均)	3%
		留年率(平均)	3%
主要少数民族	Thai(38%)	過齡児比率	24%
		女子比率	45.6%

LC4 年齢別生徒構成



地域状況

- ・ ディエンビエンフー市南8kmに位置する。
- ・ 平坦な穀倉地帯である西半分に高密度な人口を抱える一方、東側は標高 1200mまでの山地でほとんど居住人口のない地域となっている。
- ・ Kinh 族の比率が高く大都市近郊のかなり開けた地域である。

学校運営状況

- ・ 本校は700人を越す大規模校で村中央に位置し、約2km離れた国道沿いに全学年を備えたほぼ同規模の分校を有する。
- ・ 最遠の集落は本校から約4kmで周辺からの越境通学児童も多い。
- ・ 本校では一部全日制授業を実施している。

教育効率

- ・ 過齡児童がやや多いが、男女別・学年別生徒構成に大きな片寄り無く比較的安定している。
- ・ 越境通学児があるため純就学率は見かけ上 100%を超えているが、山間部を中心に若干の未就学がある。

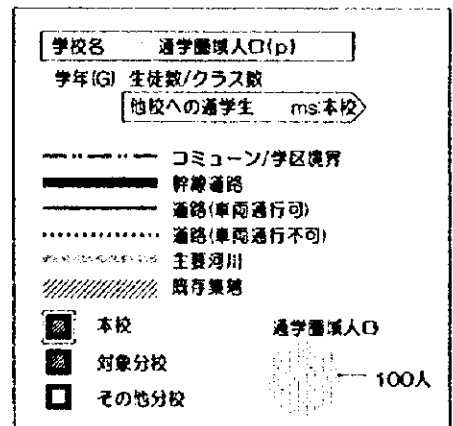
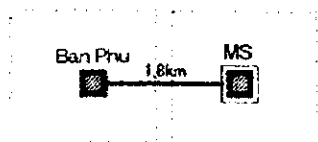
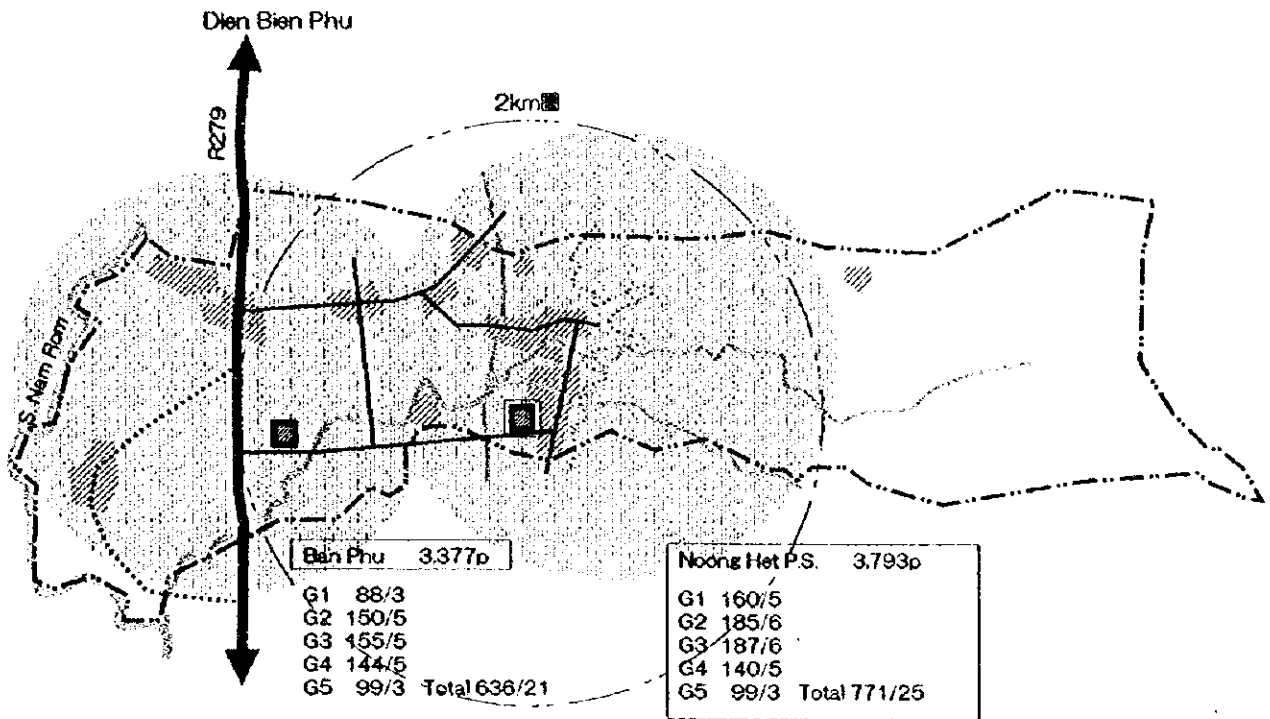
サイト状況

- ・ 本校は隣接地への移転が要請されており、現校舎は就学前教育施設としての転用が計画されている。
- ・ 対象分校は水田と水路に囲まれた限られた校地で、拡張には埋立てが必要となる。
- ・ 両校共アクセスは良好。

計画の考え方

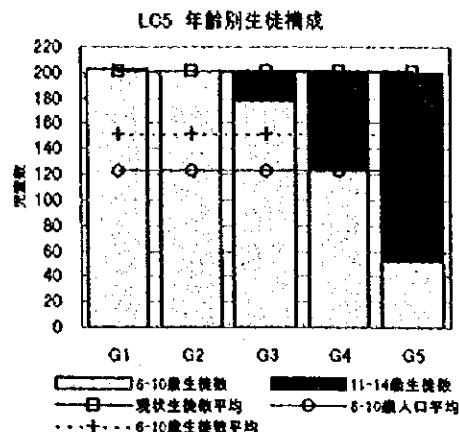
- ・ 本校は過半の施設が木造の老朽建家であり校地も過密であることから、要請内容に沿った緊急な建替え整備が必要である。
- ・ 対象分校は既に本校並みの機能を担っており、全ての建家が木造仮設建築であることから、同様に緊急な建替え整備が必要である。

LC 4 Noong Het P.S.





Commune		School(本・分校合計)	
面積	19.17km <sup>2</sup>	生徒数合計	1,003人
人口	5,262人	教員数	46人
人口密度	274.5人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	4.40人	純就学率	93%
少数民族比	44.0%	退学率(平均)	0%
主要少数民族	Thai(44%)	留年率(平均)	5%
		過剰児比率	23%
		女子比率	48.4%



地域状況

- ・ ディエンビエンフー市北郊4kmに位置する。
- ・ 東半分は平坦な穀倉地帯で大半の人口がこの地域に集中し、西側は居住人口のほとんどない山地と なってラオスへと連なっている。
- ・ Kinh 族の比率が高く大都市近郊のかなり開けた地域である。

学校運営状況

- ・ 本校は800人を越す大規模校で村中央に位置し、約3km離れた村東端に全学年を備えた分校が配 されている。
- ・ 本校では一部全日制授業を実施している。

教育効率

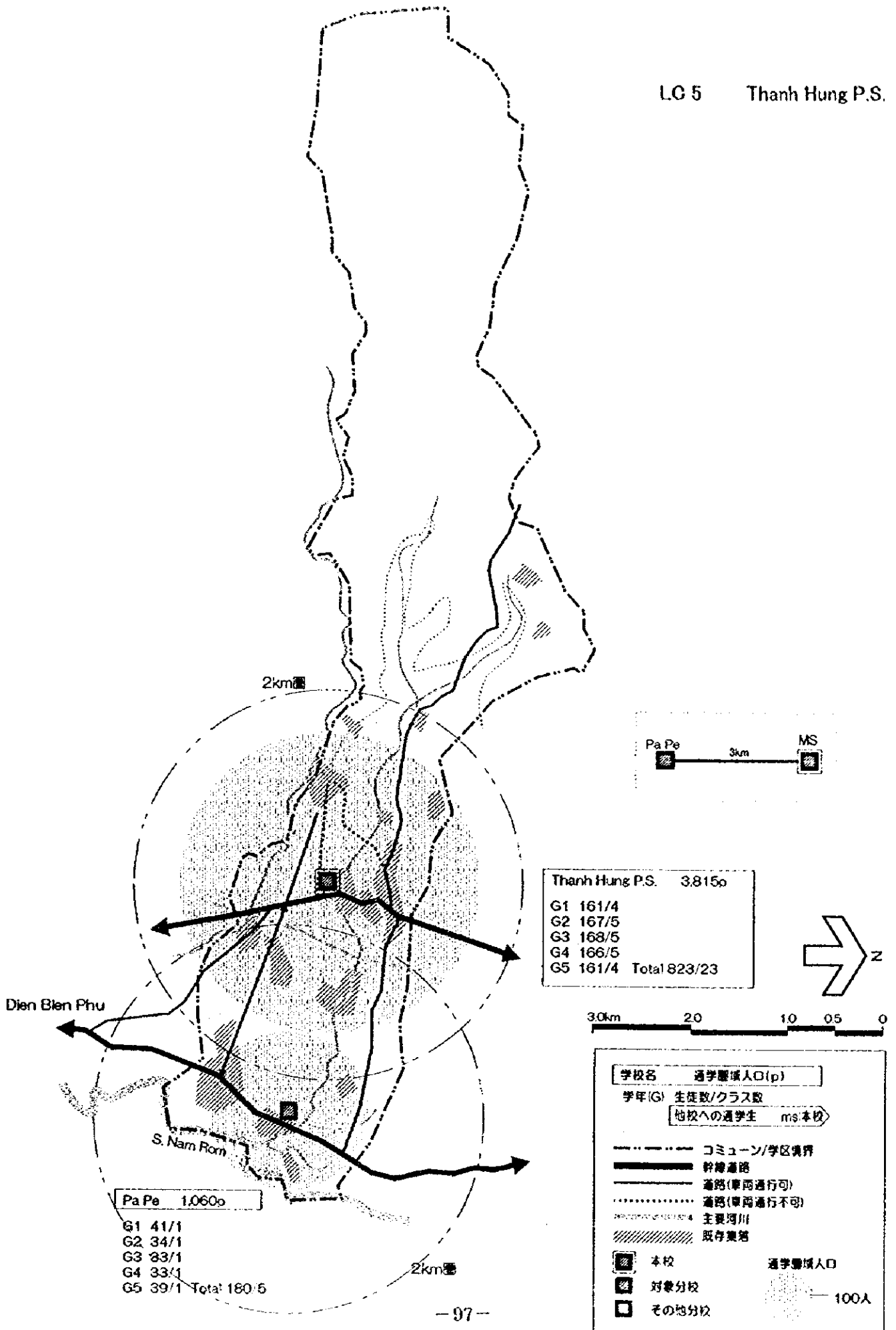
- ・ 各学年生徒数・男女児童比共ほぼ平均しており、安定した生徒構成となっている。
- ・ 純就学率は高く、退学・留年率から内部効率も高い。

サイト状況

- ・ 本分校共ディエンビエンフーからの幹線道で容易にアクセスでき、平坦地で地型にも問題は無い。
- ・ 本校は校舎の過半が木造仮設建家で、レンガ造のものも傷みが目立つ。
- ・ 対象分校はオーストラリアの援助資金で'97に完成した3教室の校舎で運営されている。

計画の考え方

- ・ 本校は過半の施設が木造の老朽建家であり緊急な建替え整備が必要である。
- ・ 対象な校は他ドである 助半分に入っており、え回の、 備対象かは除外する。

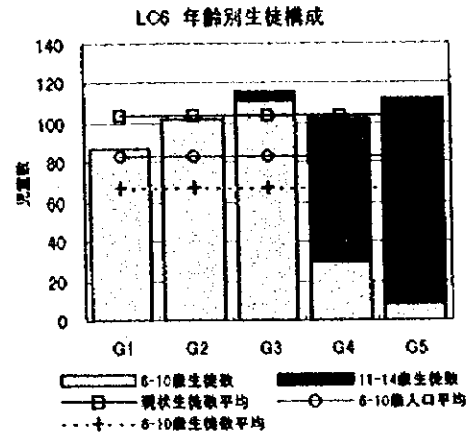


Thanh Hung P.S.	3,815p
G1	161/4
G2	167/5
G3	168/5
G4	166/5
G5	161/4
Total	823/23

Pa Pe	1,060p
G1	41/1
G2	34/1
G3	33/1
G4	33/1
G5	39/1
Total	160/5

学校名	通学圏人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms 本校
---	コミュニティ/学区境界
—	幹線道路
—	道路(車両通行可)
.....	道路(車両通行不可)
~~~~~	主要河川
////	既存集落
■	本校
■	対象分校
□	その他分校
	通学圏人口
	100人

Commune		School (本・分校合計)	
面積	11.34km <sup>2</sup>	生徒数合計	519人
人口	6,782人	教員数	23人
人口密度	598.1人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	3.75人	純就学率	82%
少数民族比	34%	退学率(平均)	1%
主要少数民族	Kinh(66%)	留年率(平均)	4%
	Thai(16%)	過齡児比率	35%
	Nhang(9%)	女子比率	44.7%



地域状況

- Phong Tho 郡の郡都で、省都からは200kmの山間地に位置し、高度は800-1000m。
- 東西に長い町域で、国道も東西に貫通する。人口密度は高く、将来児童数も増加傾向(5年後171%)にある。
- 町の南側に新開拓地があり、現在500人の人口が将来は1500人に増える見込みがある。

学校運営状況

- 町には本校が2校あり、東側の第2学区が対象学区となっている。
- 対象校は本校及び1分校からなる。本校は500人規模の大規模校である。現在小中併設校で、小学校の新サイトへの分離・転出が要請されている。
- 対象分校は元来G4までであったが、教室の損壊によりG2のみとなり、残りは本校に通っている。

教育効率

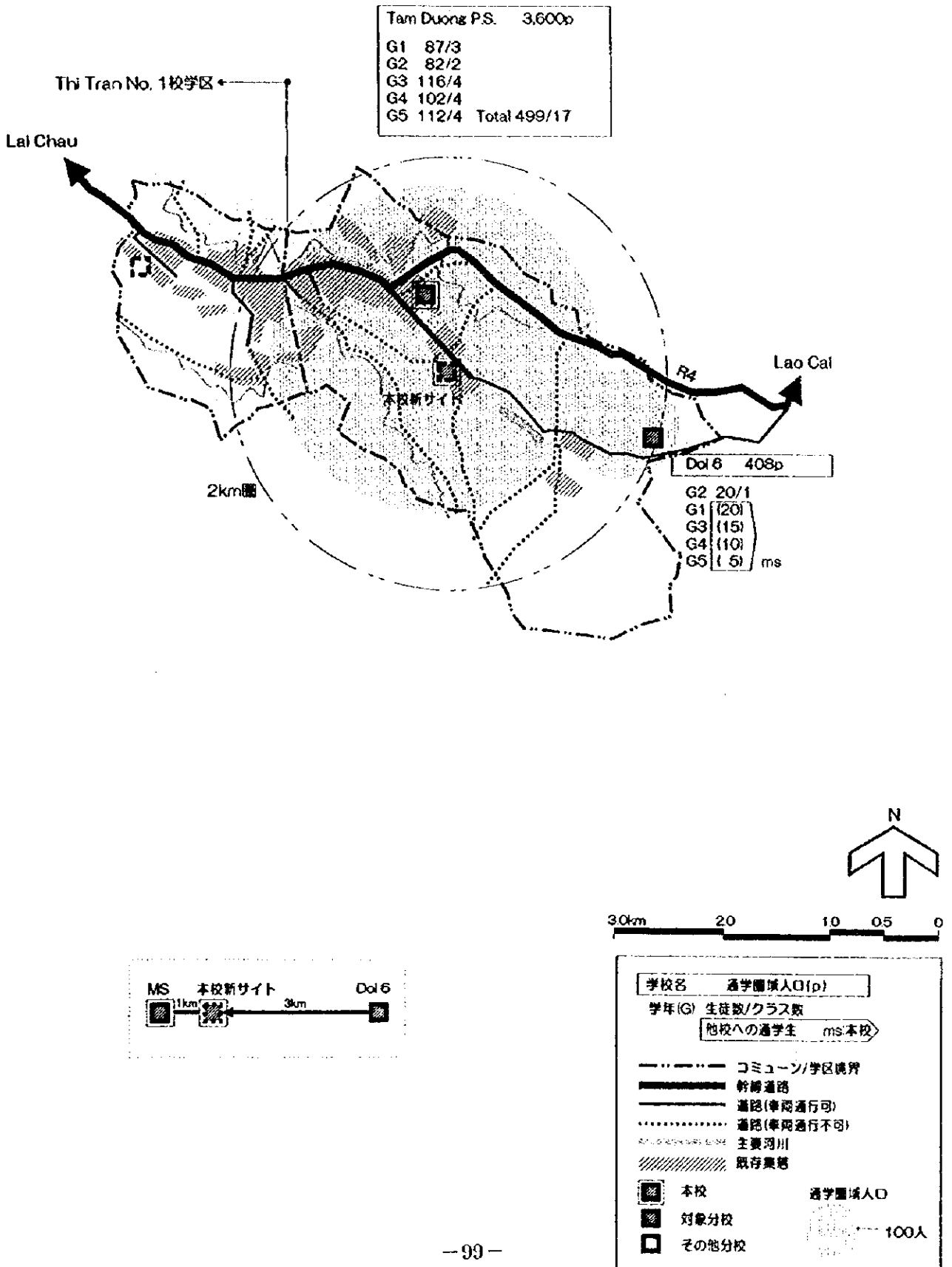
- 生徒数は学年別に若干のバラツキはあるもののほぼ安定している。
- 上級学年で特に過齡児比率が高く、内部滞留が想定される。
- 純就学率が低く、進級率の向上による内部効率の改善と同時に、就学率の向上が課題となる。

サイト状況

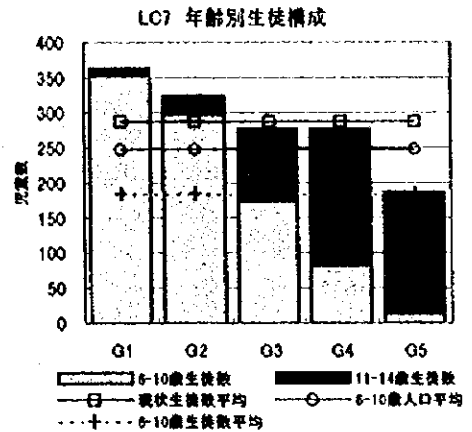
- 本校新サイトは現サッカーグラウンドで、敷地全体がテーブル状に高くなっている。周囲は既存住宅地。
- 対象分校は教室の老朽化が著しく、一部はすでに廃屋となっている。

計画の考え方

- 本校は移転・統合により施設環境及び教育効率の改善が期待でき、要請に沿った整備が妥当である。
- 対象分校は本校通学圏内にあり、現在の通学状況からも上級学年分の施設を本校側で整備することが効率的である。



Commune	School (本・分校合計)	
面積	171.39km <sup>2</sup>	生徒数合計 1,428人
人口	9,229人	教員数 55人
人口密度	53.8人/km <sup>2</sup>	
平均世帯規模	5.32人	純就学率 74%
少数民族比	59%	退学率(平均) 13%
主要少数民族	Kinh(41%)	留年率(平均) 11%
	Thai(40%)	過剰児比率 36%
	Nhang(9%)	女子比率 36%



地域状況

- Phong Tho 郡東部、省都から230kmに位置する。高度は700m前後、冬は寒く気温は零下となることもある。
- 村域は広いが、集落は西側の比較的平らな国道沿いに集中している。東側は山深い遠隔地。

学校運営状況

- 本校及び12分校からなる。これらが全部で7つの学校グループとして管理されている。
- 本校グループは本校と1分校からなる大規模校である。隣接グループ(Co Laほか2分校)から高学年生徒が通っている。現在は小中併設校であり、小学校の新サイトへ転出と周辺分校の統合が要請されている。
- 対象分校(Hoa Van)は一部近隣の民家を借用し2校に分かれて全学年を運営している。また、他の2分校から高学年生徒が通っており、すでに準本校として機能している。

教育効率

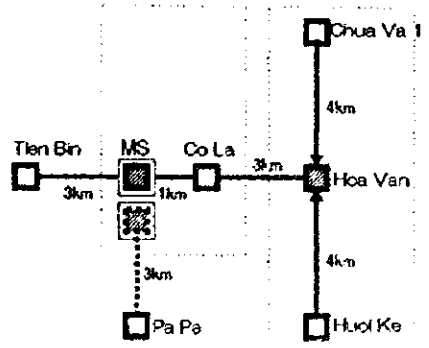
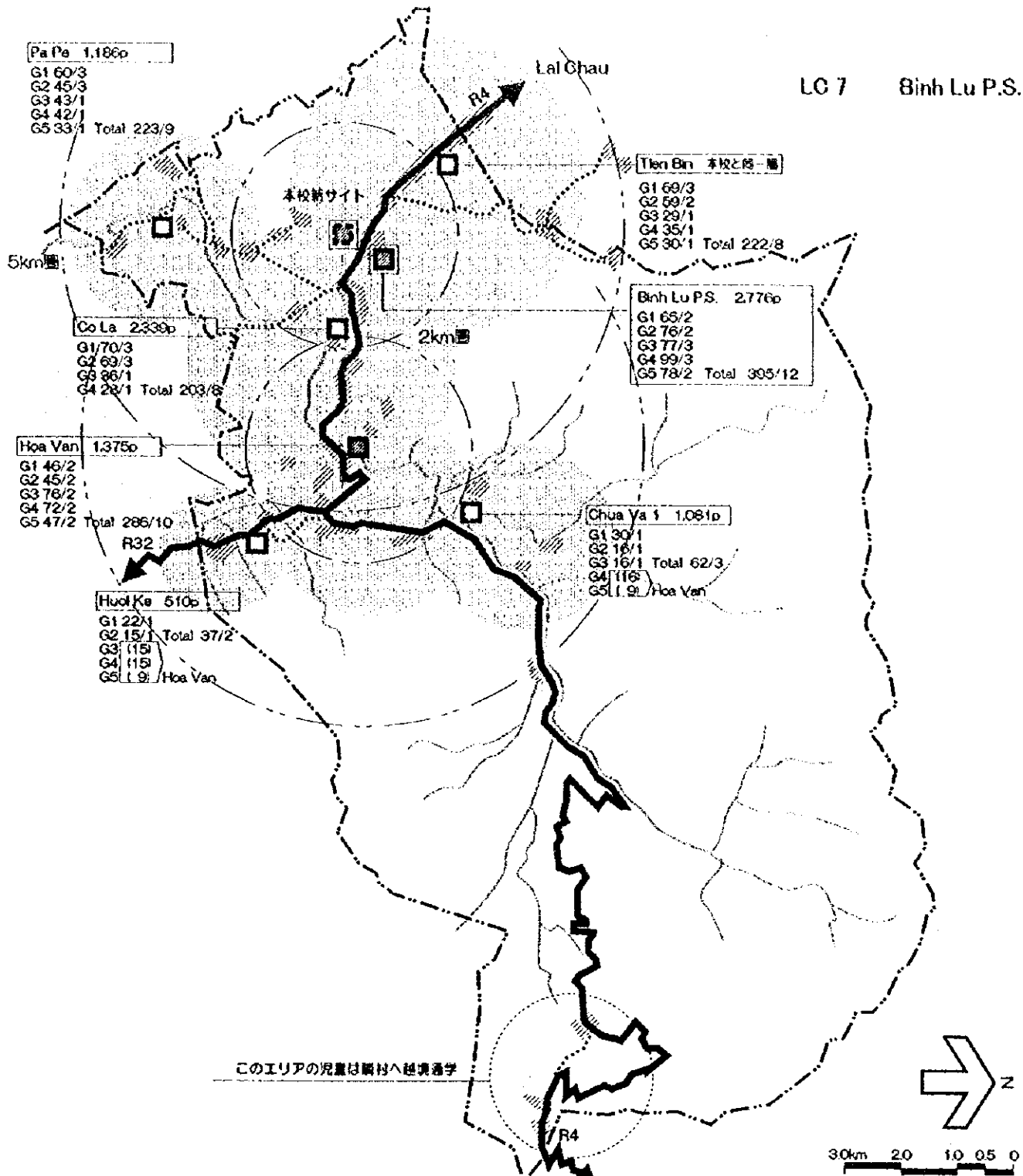
- 生徒数はG5で減少する他はほぼ平均しているが、過剰児比率が高く、内部効率の低さが想定される。
- 女子生徒数比は低く、性格差が大きい。就学率の低い大きな要因となっている。
- 内部効率の改善と共に、就学率の向上が大きな課題である。

サイト状況

- 本校新サイトは国道に面した水田で道路面より低く、一部盛土が必要。
- 対象分校はレンガ造教室があるが、老朽化が進んでいる。敷地が狭いため、拡張が必要。

計画の考え方

- 本校は移転・統合により施設環境及び教育効率の改善が期待でき、要請に沿った整備が妥当である。学齢児童人口を考慮した施設規模が必要。
- 対象分校は既に準本校として機能しており、施設整備の効果が大きい。分散・借用教室の統合整備により施設環境と教育効率の改善を図る。

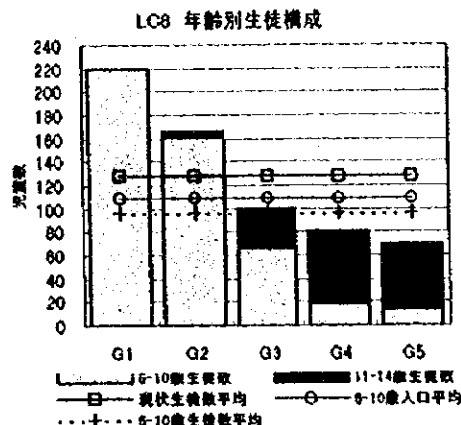


学校名	通学圏域人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms:本校

- コミューン/学区境界
- 幹線道路
- 道路(車両通行可)
- 道路(車両通行不可)
- 主要河川
- /// 既存集落
- 本校
- 対象分校
- その他分校

通学圏域人口  
100人

Commune		School(本・分校合計)	
面積	51.97km <sup>2</sup>	生徒数合計	636人*
人口	4,988人*	教員数	29人
人口密度	96.0人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	5.50人	純就学率	77%
少数民族比	80.0%	退学率(平均)	40%
主要少数民族	Thai(62%)	留年率(平均)	5%
	H'mong(11%)	過剰児比率	30%
	Khang(7%)	女子比率	40.0%
* 対象校学区は3,118人		* その他に中学生生徒数359人 寄宿生合計(G1-9)274人	



地域状況

- 郡都 Tuang Giao から北へ約6kmに位置し、標高 500~1,000mの山間部を占めている。
- 西部を貫通する国道 6 号線沿いを中心に小集落が散在し、人口密度は省平均に近い。
- 人口の 6 割を Thai 族が占め、Kinh 族が 2 割である。

学校運営状況

- 対象校は現在小中併設校で村西部を学区としており、それ以外は他校の学区となっている。
- 本校から2~3km圏に4分校、北部国道沿いに2分校、計 6 分校が配置されている。
- 本校圏の分校は低学年のみを運営、上級学年の一部が本校へ通学している。
- 北部2分校では上級学年は G4 までを備えた Ban Cha 校に通っているが、G5 へのアクセスが閉ざされており、現在は寄宿での対応となっている。
- 本校は大規模の寄宿施設を備え他地域からの児童も多く、G1-G5 で 86 人を村外から受入れている。

教育効率

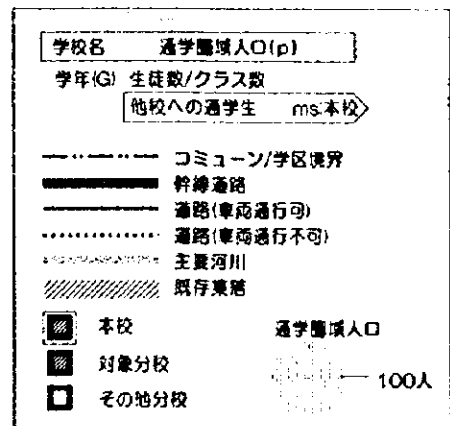
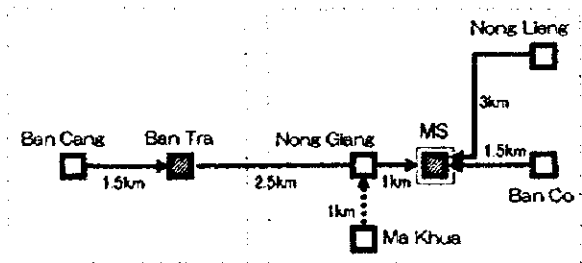
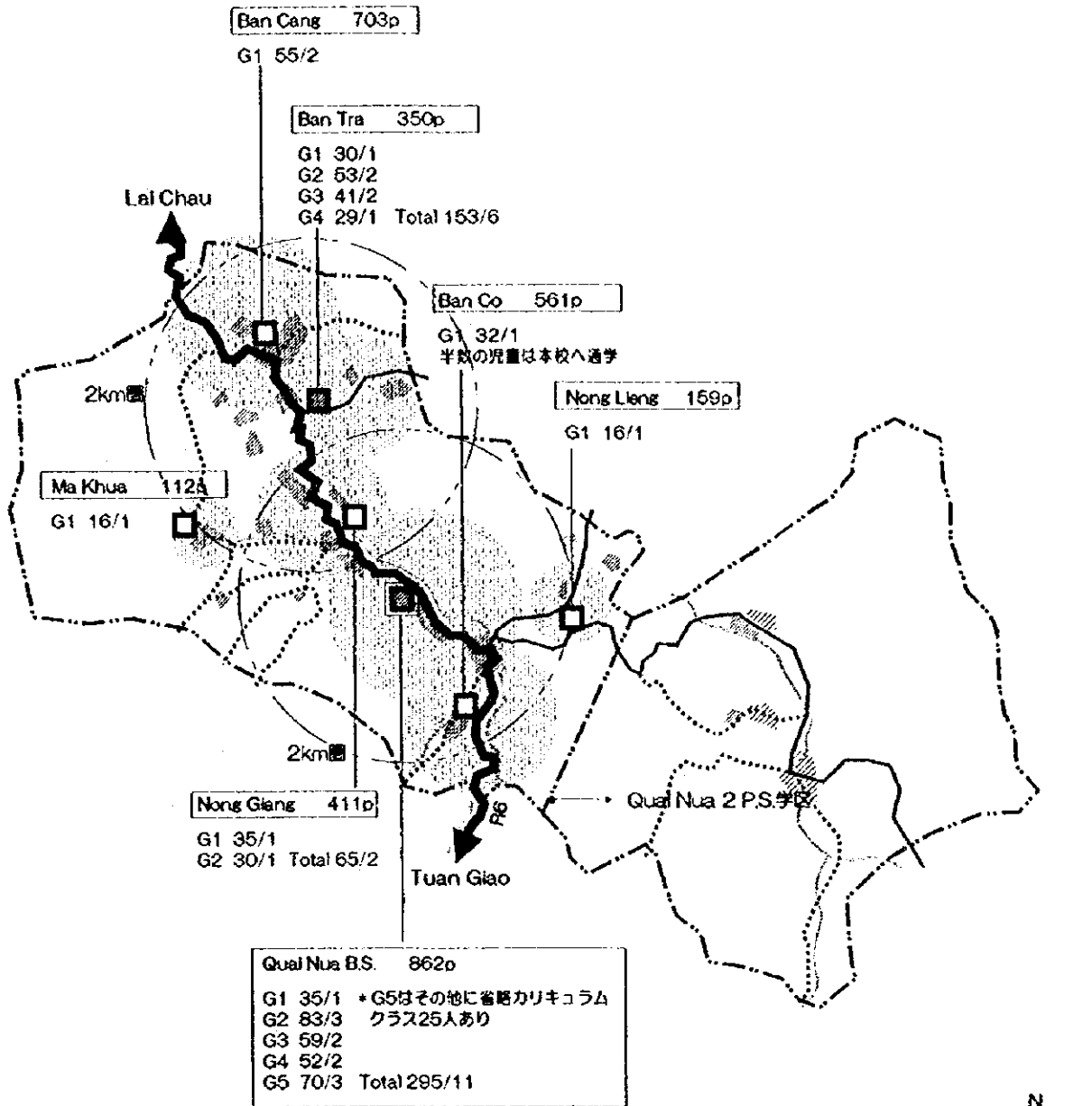
- 他地域からの受入れ生徒がありながら純就学率も低く、生徒構成・退学率から見ても改善の余地が大きい。
- 女子比率が低いことから早婚や家庭内就業等の地域事情も就学の大きな阻害要因と考えられる。

サイト状況

- 本校は国道に沿った平坦地で、現敷地内での小中分離が要請されている。全ての校舎が木造の仮設建家で併設の寄宿舎・教員住居も同様の状況にある。カナダ NGO 援助による木造寄宿舎 1 棟あり。
- 対象分校も国道沿いにあり、施設状況は本校以上に劣悪である。

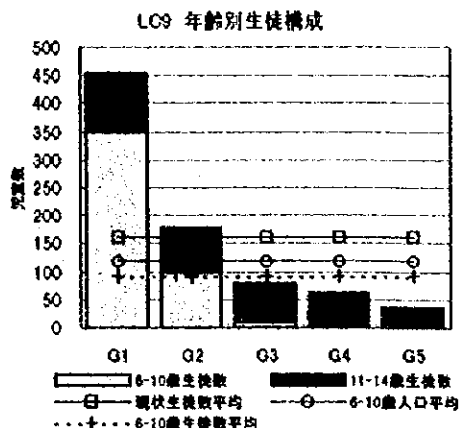
計画の考え方

- 本校は小中分離による施設環境改善、及び老朽施設建替えの面から緊急な整備が必要である。通学可能圏の学齢児童人口を考慮した施設整備が望ましい。
- 対象分校は既に北部地域の中核校として運営されており施設も劣悪であることから、準本校として全学年を整備することが適当である。





Commune		School(本・分校合計)	
面積	259.74km <sup>2</sup>	生徒数合計	808人*
人口	4,590人	教員数	34人
人口密度	17.7人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	6.19人	純就学率	75%
少数民族比	98.0%	退学率(平均)	24%
主要少数民族	H'mong(33%)	留年率(平均)	9%
	Kho Mu(29%)	過齡児比率	44%
	Thai(23%) 他	女子比率	29.4%
		* 寄宿生合計	87人



### 地域状況

- ・ 省都から北へ43kmに位置し、北端が郡都 Moug Lay、西端がラオスと接している。
- ・ ほとんどが標高800m～1200mの山地で、国道とNu川に沿った地域を中心に小集落が散在している。
- ・ 居住人口のほぼ100%が少数民族である。

### 学校運営状況

- ・ 本校は現在2サイトに分かれて運営されており、Hin1は借用教室となっている。
- ・ 計13分校が設置され、本校通学圏内の2校と国道沿いの4校を除く7校は山間の遠隔集落に分布する(遠隔分校は全て1996年以降の設立)。
- ・ 分校では低学年のみが運営され、本校周辺の分校を除くと上級学年への進級は寄宿に頼っている。また一部他村からの寄宿生も受け入れている。

### 教育効率

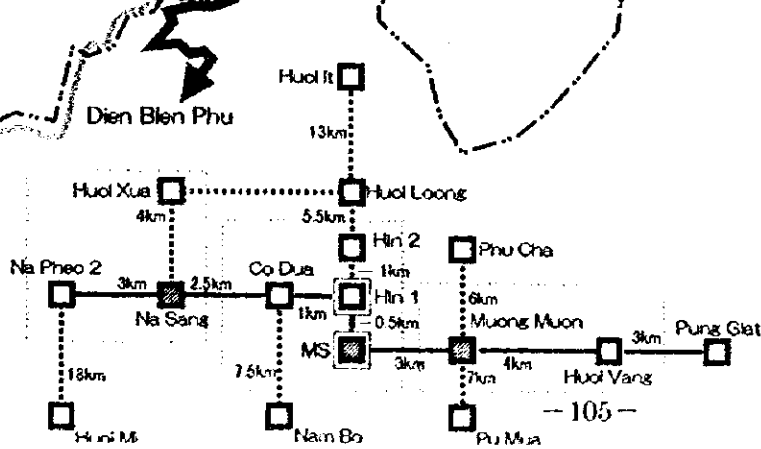
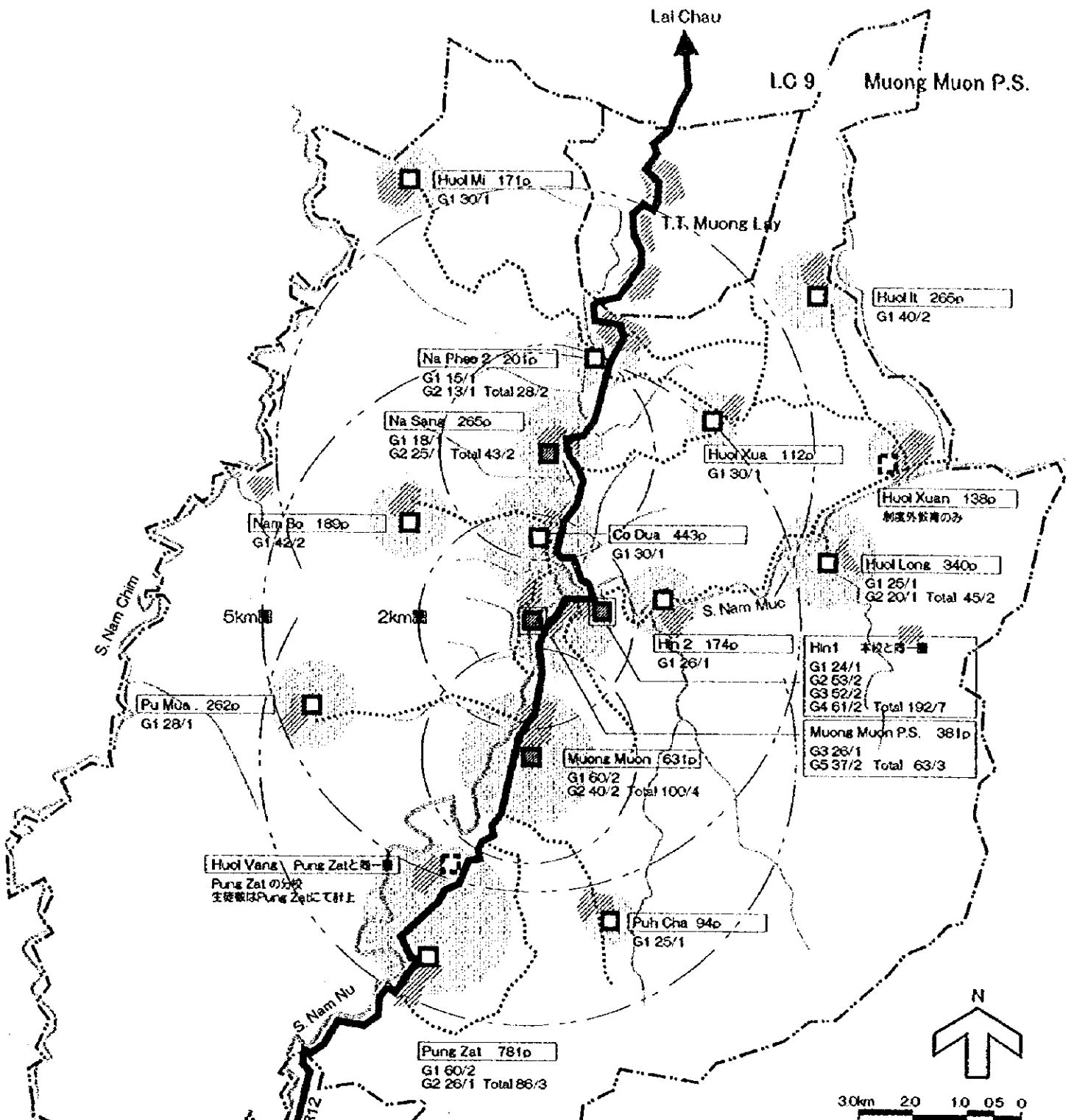
- ・ 全生徒の約8割がG1/G2に集中し上級学年へのアクセスが限られていることから退学率が高い。
- ・ 就学率も特に分校地域では低く、改善の余地が大きい。
- ・ 女子比率が極端に低く、早婚や家庭内就業といった地域事情も就学の大きな障害要因となっている。

### サイト状況

- ・ 本校は国道に沿った平坦地で、2サイトの統合が要請されている。現在借用しているHin1校は新校舎整備後は寄宿舎への転用が計画されている。
- ・ 対象分校はいつでも国道沿いにあり、木造の仮施設で運営されている。
- ・ Muong Muon校は民家が隣接する狭小な敷地内に幼稚園を抱えている。

### 計画の考え方

- ・ 本校は施設の分散解消・老朽施設建替の両面から緊急な整備が必要であり、通学圏2分校の上級学年分を含めた整備が適当である。
- ・ 対象分校はそれぞれの周辺分校を含めた上級学年へのアクセス改善効果が大きく、準本校として全学年分の施設整備を行うことが適当である。



学校名	通学圏域人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms:本校

- コミューン/学区境界
- == 幹線道路
- 道路(車両通行可)
- ..... 道路(車両通行不可)
- ~~~~ 主要河川
- //// 既存集落

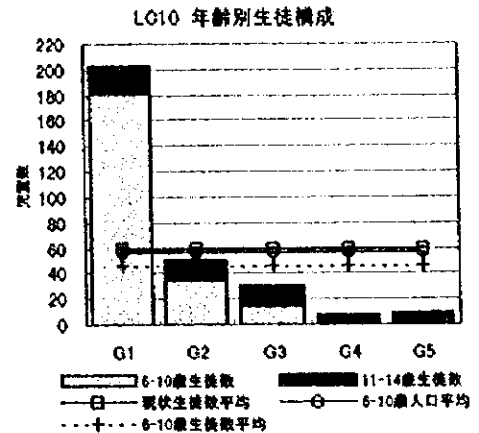
- 本校
- ▣ 対象分校
- その他分校

通学圏域人口

100人

Commune		School (本・分校合計)	
面積	66.55km <sup>2</sup>	生徒数合計	299人
人口	2,719人	教員数	15人
人口密度	40.9人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	5.71人	純就学率	79%
少数民族比	na	退学率(平均)	42%
主要少数民族	Dao	留年率(平均)	4%
	Kinh	過齡児比率	25%
		女子比率	20%



地域状況

- ・ Sin Ho 郡中部に位置し、省都から150kmの遠隔地。最貧困1000村に該当。
- ・ 村は東西に長く、西側を南北に国道が貫通する。国道沿いにも集落が集まるが、人口の過半は中央・東部に住んでいる。これらの地域は地形が険しく、徒歩のみが交通手段となる遠隔地である。
- ・ 将来児童数は増加傾向(5年後143%)にある。
- ・ Dao 族が人口の多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校及び6分校からなる。本校の通学圏は主に国道沿いの4km程度だが、分校の集落からの寄宿生徒もいる。
- ・ 分校はいずれもG1のみで短縮・省略カリキュラムを実施している。本校までは12-25kmと遠く寄宿以外に上級学年へのアクセスが無い。

教育効率

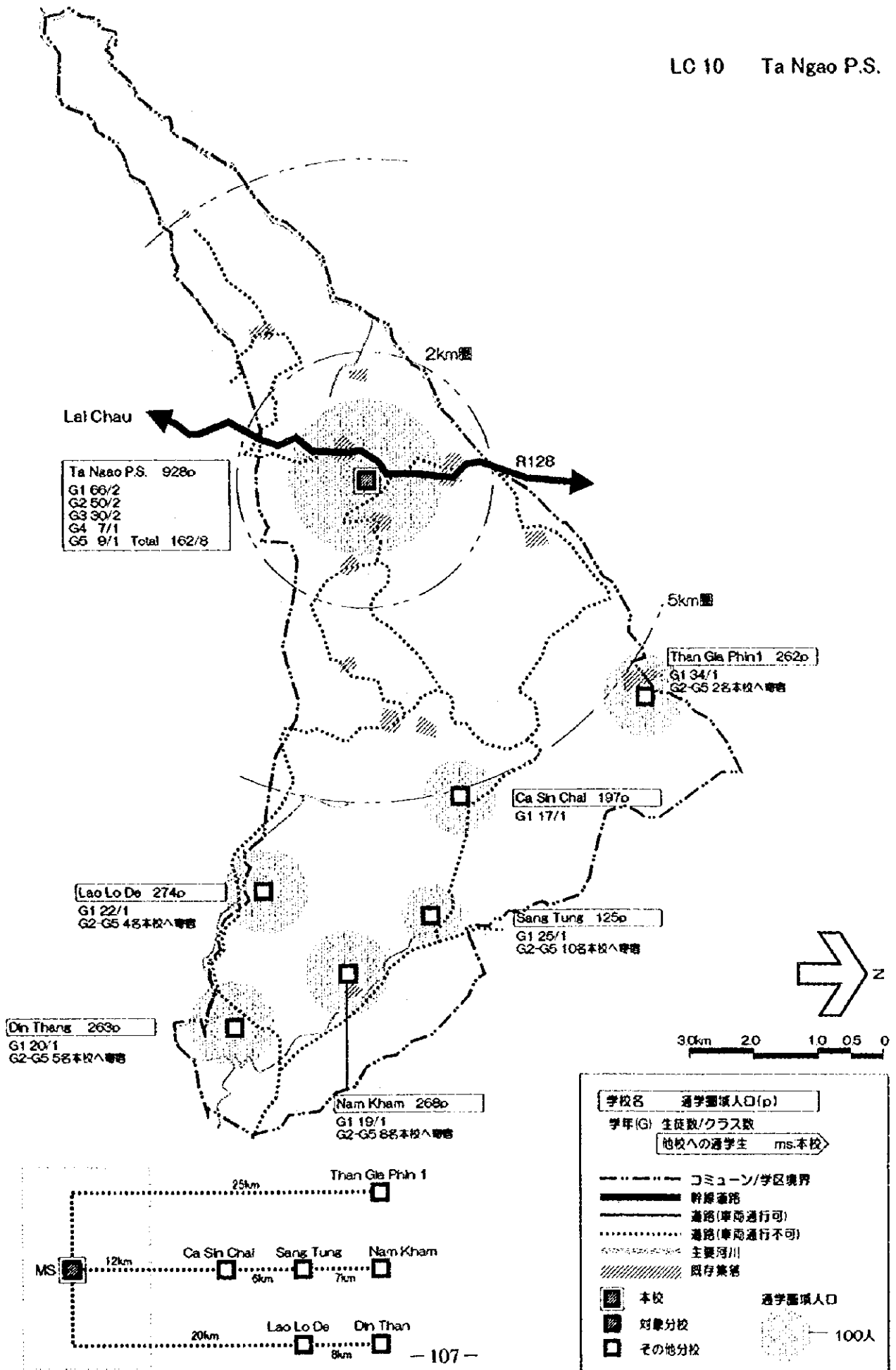
- ・ 学齢児童(6-10歳)の6割、全生徒の約7割がG1に集中している。退学率も高く、遠隔の分校地域で上級学年へのアクセスが絶たれているためと考えられる。
- ・ 就学率は低い。民族的な理由などから女子比率が極度に低く、未就学の大きな要因となっている。
- ・ 上級学年へのアクセスの改善、性格差の是正が課題である。

サイト状況

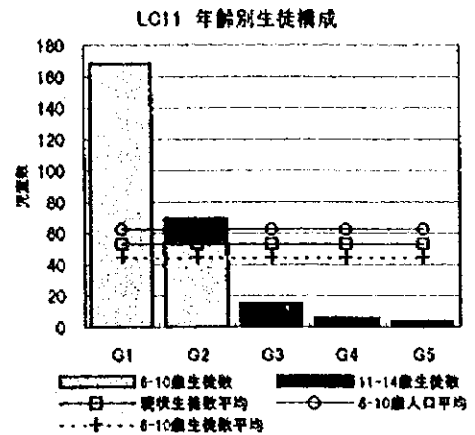
- ・ 本校サイトは平坦地で施設はレンガ造だが、老朽化が激しい。他に木造仮設の教員宿舎と寄宿舎がある。

計画の考え方

- ・ 本校は施設老朽化の面から緊急な建替え整備が必要である。
- ・ 分校はいずれもアクセス不良で工実施が不可能なことから、要請に含まれていない。



Commune		School (本・分校合計)	
面積	43.19km <sup>2</sup>	生徒数合計	263人
人口	1,956人	教員数	16人
人口密度	45.3人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	5.53人	純就学率	75%
少数民族比	100%	退学率(平均)	13%
主要少数民族	Dao(93%)	留年率(平均)	7%
	H'mong(7%)	過齡児比率	15%
		女子比率	33%



地域状況

- ・ Sin Ho 郡中部に位置し郡都に隣接する。省都から170kmの遠隔地。最貧困1000村に該当。
- ・ 村は郡都を囲んでおり、西端を国道が南北に貫通し、この周りに集落が集中している。
- ・ 村域の大半を占める山間地にも多くの住民が住み、これらは交通条件に恵まれない遠隔地となっている。
- ・ Dao 族が人口のほとんどを占める。

学校運営状況

- ・ 本校及び4分校からなる。本校は現在小中併設校で、小学校の新サイトへの転出が要請されている。
- ・ 分校はG1、G2 のみで高学年生徒は本校に通学または寄宿している。

教育効率

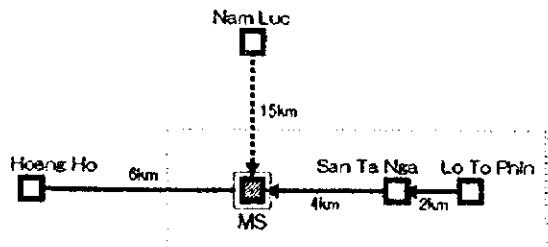
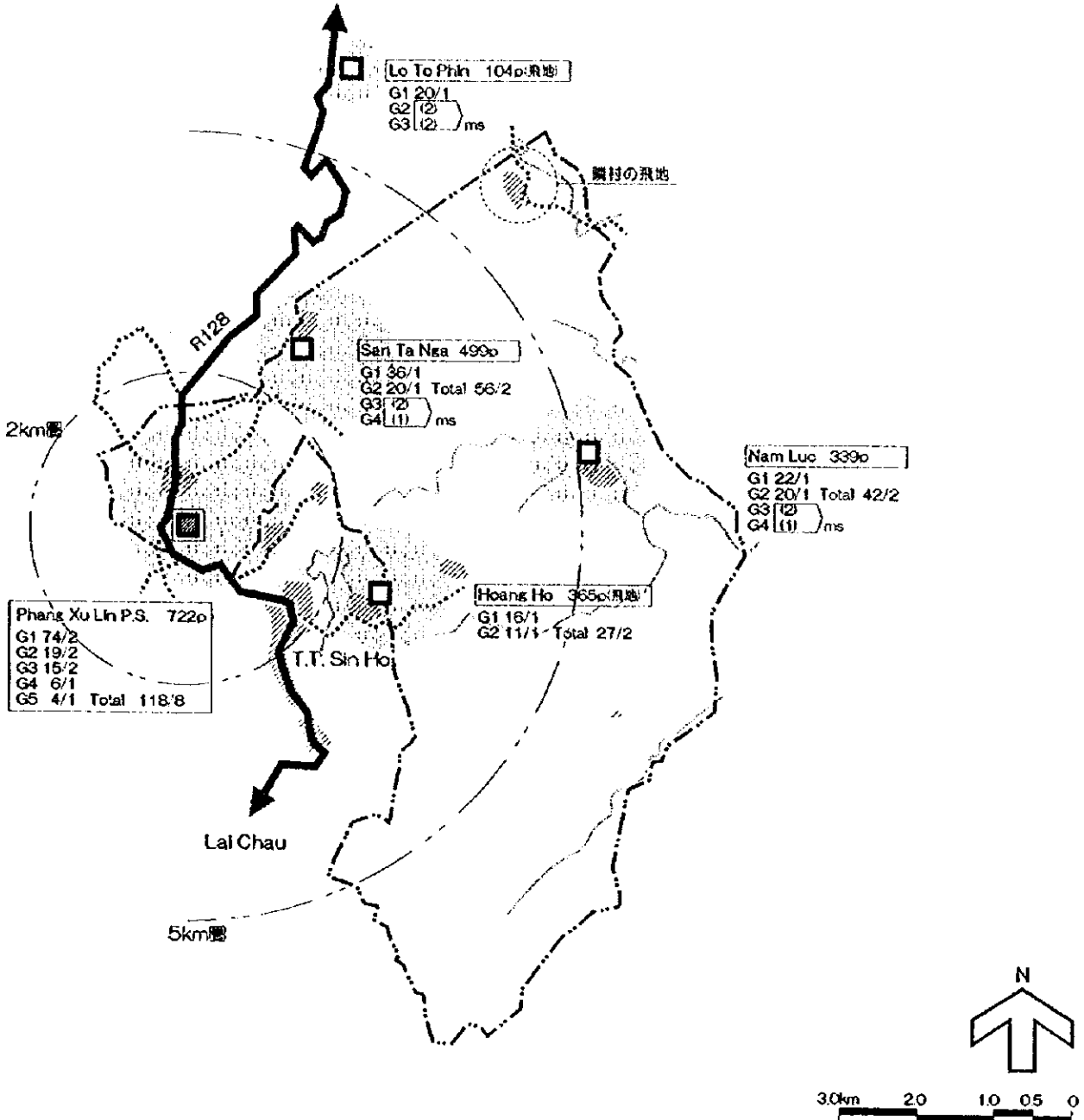
- ・ 学齡児童(6-10歳)の半数以上、全生徒の約6割がG1に集中している。退学率も高く、遠隔の分校地域で上級学年へのアクセスが困難なことが要因と考えられる。
- ・ 就学率は低い。民族的な理由などから女子比率が極度に低く、未就学の大きな要因となっている。
- ・ 上級学年へのアクセスの改善、性格差の是正が課題である。

サイト状況

- ・ 本校新サイトは十分な広さを持ち、敷地中央にテーブル状の丘陵がある。

計画の考え方

- ・ 本校は分離・移転により施設環境及び教育効率の改善が期待でき、要請に沿った整備が妥当である。学齡児童人口を考慮した施設規模が必要。
- ・ 分校は要請に含まれていない。



学校名	通学圏域人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms:本校

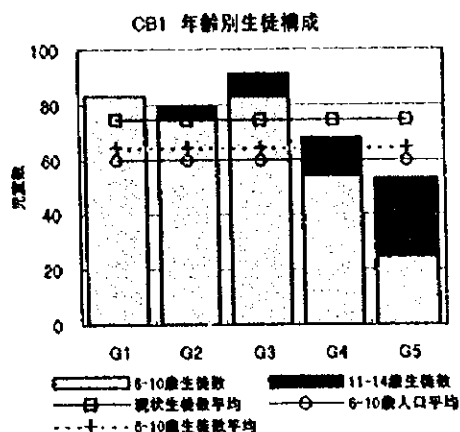
  

- コミュニティ/学区境界
- 幹線道路
- 道路(車両通行可)
- 道路(車両通行不可)
- 主要河川
- 既存集落

	本校	通学圏域人口
	対象分校	100人
	その他分校	

Commune		School (本・分校合計)	
面積	31.41km <sup>2</sup>	生徒数合計	374人
人口	2,362人	教員数	36人
人口密度	75.2人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	4.25人	純就学率	107%
少数民族比	100%	退学率(平均)	7%
主要少数民族	Tay(50%)	留年率(平均)	20%
	Nung(35%)	過齡児比率	14%
	Dao	女子比率	49.9%



地域状況

- ・ Ha Quang 郡西部、省都から50kmに位置し中国と国境を接している。
- ・ 村の東端を国道が南北に貫通している。この国道沿いに集落が集まっており、人口が密集している。国道から離れた西部は険しい山間地となり、人口疎らで、交通の不便な遠隔地となっている。
- ・ Tay 及び Nung 族が多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校及び4分校からなる。本校は小中併設校で中学校の転出が予定されている。
- ・ 分校はいずれも不完全校で高学年生徒は本校に通っている。対象分校 (Truc Long) も不完全校で G5は無いが、2分校を抱える準本校として機能している。

教育効率

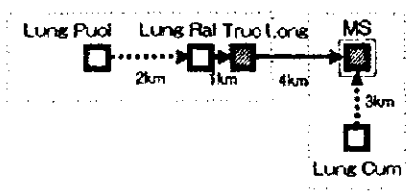
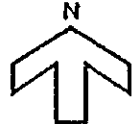
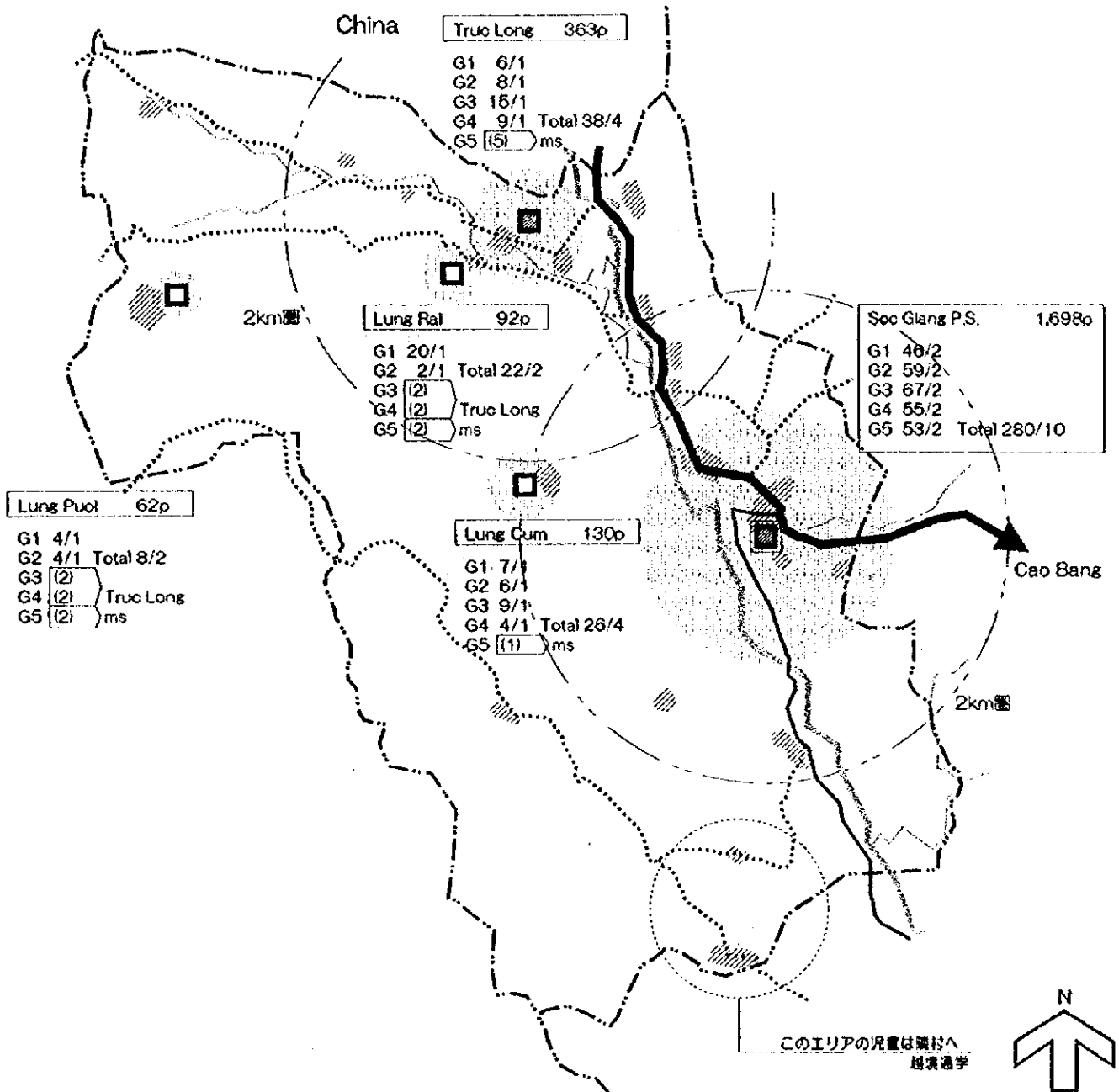
- ・ 就学率は高く、過齡児も比較的少ない。
- ・ 生徒数はG4、G5で落ち込んでおり、山間地の上級学年へのアクセス難が要因と考えられる。
- ・ 特に山間地の通学状況を改善し、内部効率を改善していくことが課題である。

サイト状況

- ・ 本校サイトはレンガ造だが多くの教室は老朽化している。
- ・ 対象分校サイトは狭小敷地に木造土壁の仮設教室がある。周辺に川・池など地勢上の制約もあり、敷地拡張と池の埋め立て等が必要。一部徒歩のみのアクセスがあるが十分建設可能である。

計画の考え方

- ・ 本校は施設老朽化が激しく、建て替えによる緊急な環境改善の必要がある。
- ・ 対象分校は仮設建家で建て替えの緊急性が高い。加えて、完全校として増設整備することで山間地上級学年へのアクセス改善が期待できる。



学校名	通学圏域人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms:本校

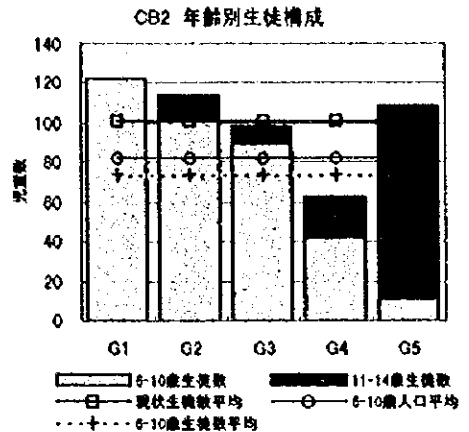
  

- コミューン/学区境界
- 幹線道路
- 道路(車両通行可)
- ..... 道路(車両通行不可)
- ~~~~~ 主要河川
- //// 既存集落
- 本校
- 対象分校
- その他分校

通学圏域人口  
 100人



Commune		School (本・分校合計)	
面積	22.87km <sup>2</sup>	生徒数合計	505人
人口	3,192人	教員数	33人
人口密度	139.6人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	3.75人	純就学率	89%
少数民族比	70%	退学率(平均)	14%
主要少数民族	Tay(60%)	留年率(平均)	3%
	Kinh(30%)	過齡児比率	28%
	Nung	女子比率	51%



地域状況

- Nguyen Binh 郡の郡都、省都からは50kmに位置する。
- 国道沿いに市街地が発達し人口密度も高い。国道から離れた山間地は人口密度が低く、アクセスも悪い。東部地域(Na Con)では将来生徒数は増加傾向が見られる。

学校運営状況

- 本校及び5分校からなる。本校は国道沿いの市街地を通学圏とする大規模校である。1分校(Thom San)から高学年が通っていて、隣村からの越境通学も多く、全生徒数の15%程度である。
- 対象分校(Na Con)は完全校で他2分校から高学年が通う準本校として機能している。

教育効率

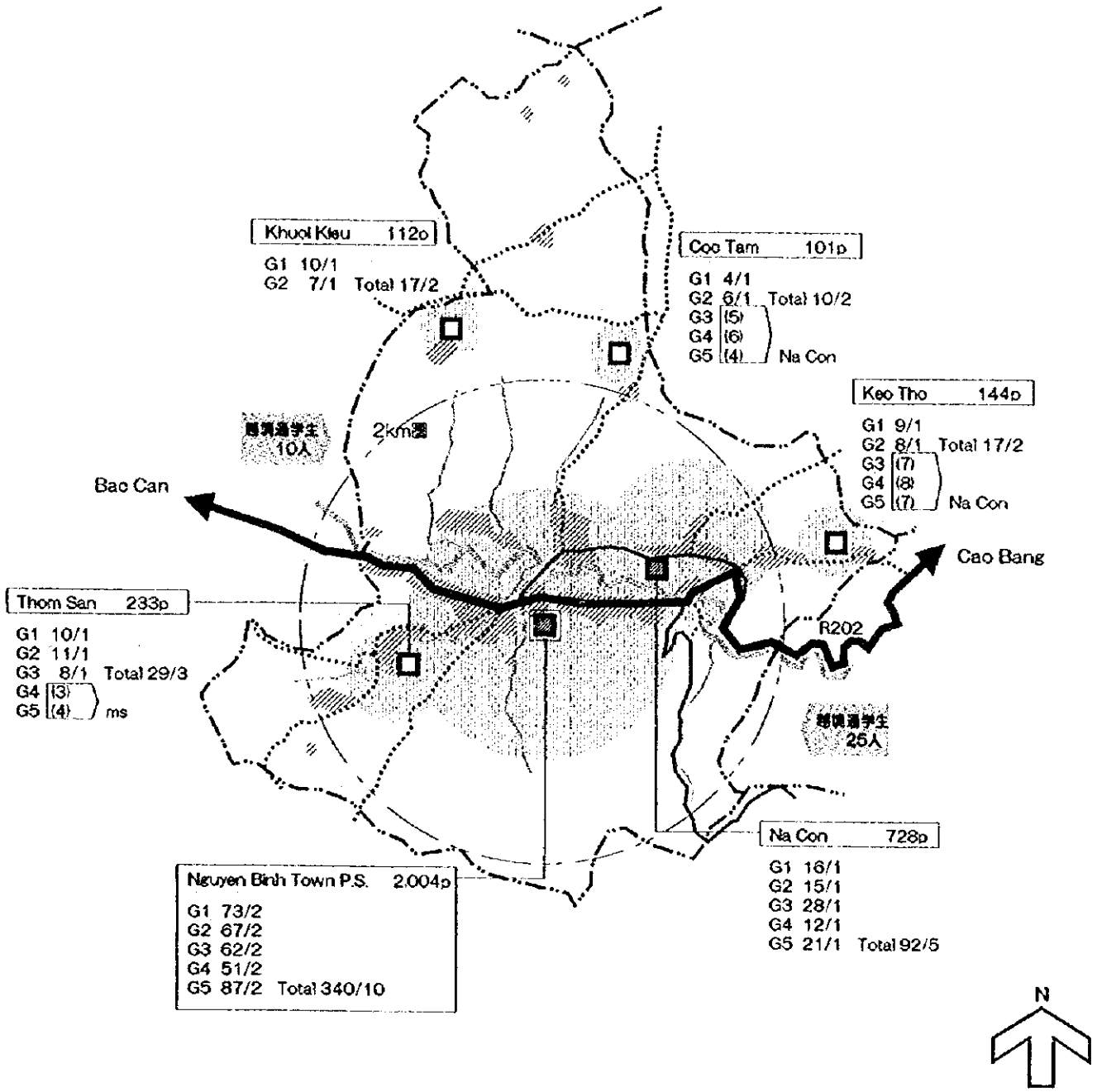
- 越境通学児がありながら就学率は低く、退学率も高い。
- 生徒数はG1→G4で緩やかに減少する。G5のみが突出して多く、ほとんどが過齡児となっていて、内部滞留及び越境通学児の影響が考えられる。
- 未就学の改善とともに内部効率の向上が課題となる。

サイト状況

- 本校サイトは十分な広さを持つ。教室棟はレンガ造だが、ほとんどが老朽化している。
- 対象分校は既存校に隣接する新サイトへの移転が要請されている。現在、畑地で若干の造成が必要。

計画の考え方

- 本校は施設老朽化が激しく、建て替えによる緊急な環境改善の必要がある。
- 対象分校は教室が不足・老朽化しており緊急な整備が必要。また、施設環境の整備により他2分校からの上級学年のアクセス改善が期待できる。



**Thom San 233p**  
 G1 10/1  
 G2 11/1  
 G3 8/1 Total 29/3  
 G4 (3) ms  
 G5 (4) ms

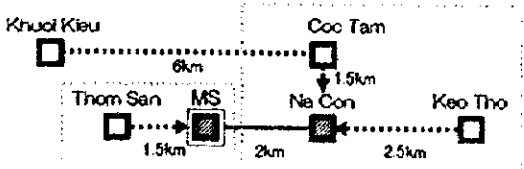
**Khuoi Kieu 112p**  
 G1 10/1  
 G2 7/1 Total 17/2

**Coc Tam 101p**  
 G1 4/1  
 G2 6/1 Total 10/2  
 G3 (5)  
 G4 (6)  
 G5 (4) Na Con

**Keo Tho 144p**  
 G1 9/1  
 G2 8/1 Total 17/2  
 G3 (7)  
 G4 (8)  
 G5 (7) Na Con

**Na Con 728p**  
 G1 16/1  
 G2 15/1  
 G3 28/1  
 G4 12/1  
 G5 21/1 Total 92/5

**Nguyen Binh Town P.S. 2004p**  
 G1 73/2  
 G2 67/2  
 G3 62/2  
 G4 51/2  
 G5 87/2 Total 340/10



学校名	通学圏人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms:本校

- コミューン/学区境界
- 幹線道路
- 道路(車両通行可)
- 道路(車両通行不可)
- ~~~~~ 主要河川
- //// 既存集落

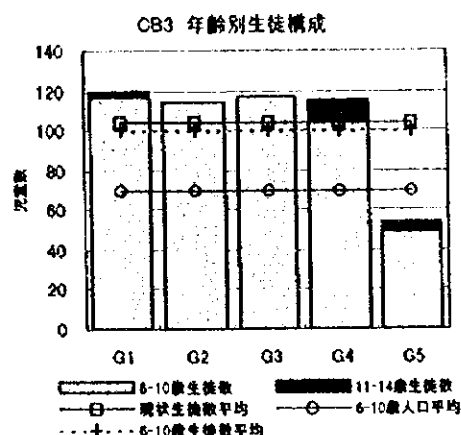
- 本校
- 対象分校
- その他分校

通学圏人口

100人

Commune		School (本・分校合計)	
面積	32.63km <sup>2</sup>	生徒数合計	520人
人口	1,501人	教員数	25人
人口密度	46.1人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	4.30人	純就学率	144%
少数民族比	100%	退学率(平均)	3%
主要少数民族	Tay(10%)	留年率(平均)	17%
	Nung(30%)	過齡児比率	4%
	Dao(20%)	女子比率	53%



地域状況

- ・ Nguyen Binh 郡東部、省都から20kmに位置する。
- ・ 村域の大半は険しい山地。国道が東西を横断しており、この国道沿いに集落が散在する。山間地は人口密度が低く交通条件も整っていない。
- ・ 村の南西部(Na Noi 集落)には入植地があり、ここへは道路も通って比較的交通条件が良い。
- ・ Tay 及び Nung 族が多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校及び2分校からなる。本校は小中併設校で中学校の転出が予定されている。他分校からの通学生はなく、最遠4km程度の単一通学圏となっている。隣村からの越境通学もある。
- ・ 対象分校(Na Bao)は本校と同規模であり、他1分校からG5が通学し、準本校として機能している。

教育効率

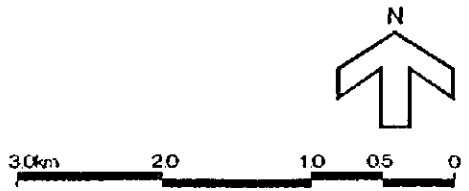
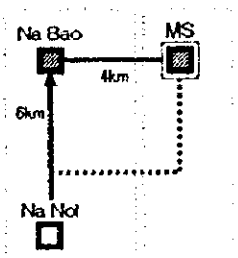
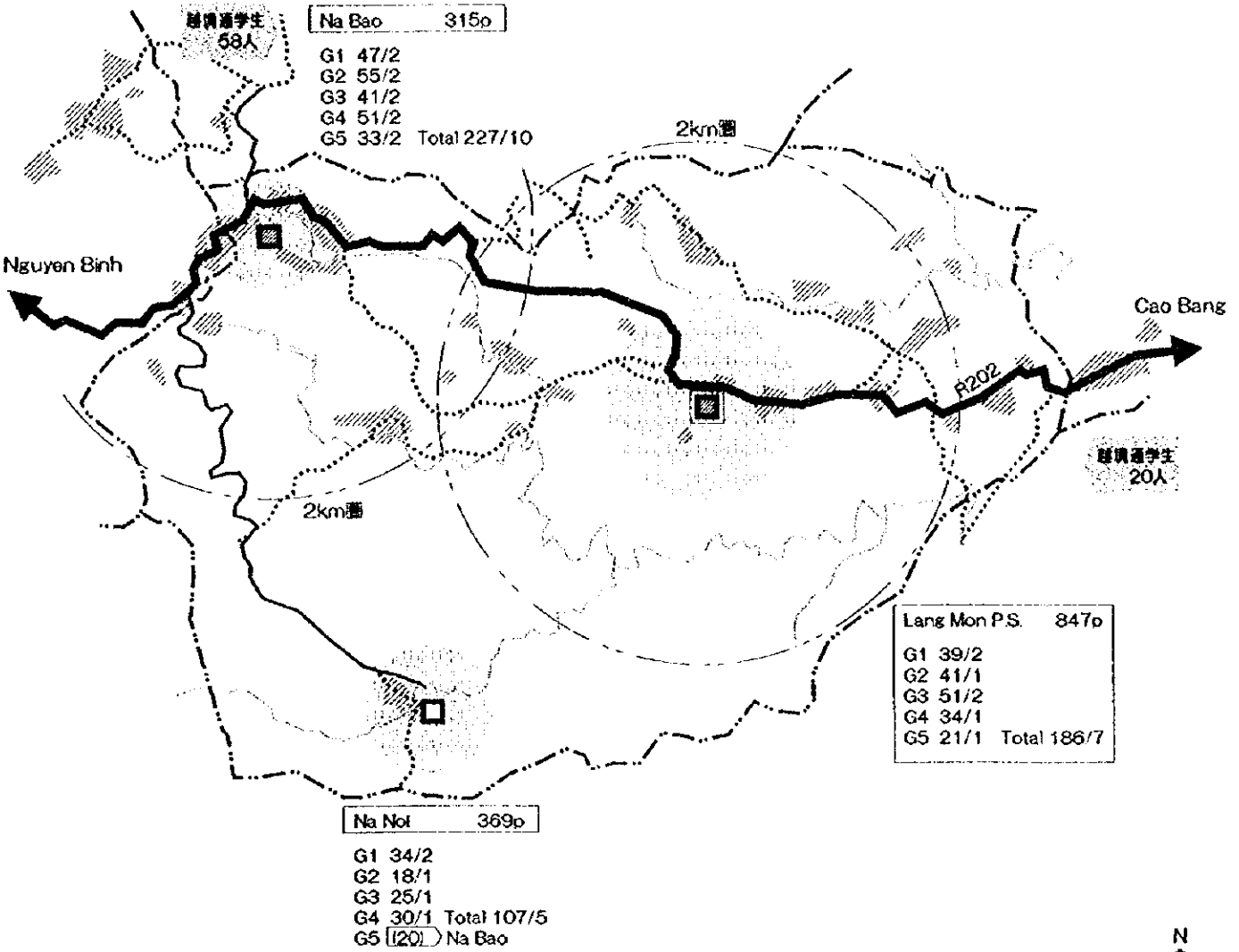
- ・ 就学率は高く、退学率は低い。就学児のほとんどが標準年齢児童(6-10歳)である。
- ・ 生徒数はG5で大きく落ち込むが、他は一定しており、平準化が進んでいる。
- ・ 上級学年の進級率向上が課題となる。

サイト状況

- ・ 本校サイトにはレンガ造及び木造土壁の仮設教室があり、いずれも老朽化している。
- ・ 対象分校は木造竹壁の仮設教室のみ。敷地内に段差、傾斜があり、造成が必要。徒歩でアクセスする部分がある。

計画の考え方

- ・ 本校は施設老朽化が激しく、建て替えによる緊急な環境改善の必要がある。
- ・ 対象分校は本校並みの規模で、既に準本校として機能している。老朽建て替えの緊急性も高く、環境改善が必要である。



学校名	通学圏域人口(p)
Na Bao	315
Na Noi	369
Lang Mon P.S.	847

学年(G)	生徒数/クラス数
G1	47/2
G2	55/2
G3	41/2
G4	51/2
G5	33/2

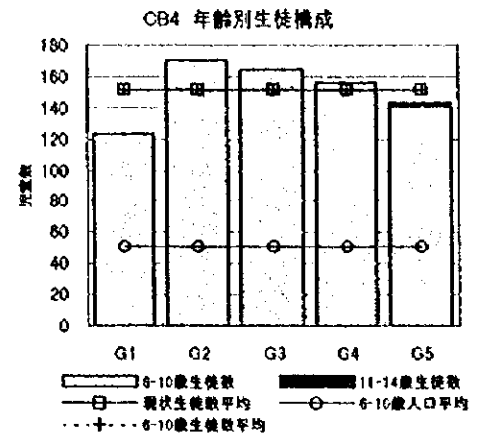
他校への通学生 ms:本校

- コミューン/学区境界
- == 幹線道路
- 道路(車両通行可)
- ..... 道路(車両通行不可)
- ~~~~ 主要河川
- //// 既存集落

本校  
 対象分校  
 その他分校

通学圏域人口  
 100人

Commune		School (本・分校合計)	
面積	1.21km <sup>2</sup>	生徒数合計	758人
人口	3,538人	教員数	30人
人口密度	2,924人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	3.71人	純就学率	302%
少数民族比	60%	退学率(平均)	4%
主要少数民族	Tay(50%)	留年率(平均)	9%
	Kinh(40%)	過剰児比率	0%
	Nung	女子比率	53%



地域状況

- ・ Hoa An 郡の郡都、省都から20kmに位置する。
- ・ 狭い町を国道が貫通し全面的に市街地化されている。人口密度は極めて高く、将来生徒数も増加傾向(5年後143%)にある。

学校運営状況

- ・ 本校及び1分校からなる。本分校は近接して互いに補完的な関係にあり、G5が分校に、残りが本校に通っている。隣村からの越境通学者が極めて多く、生徒全体の1/2を占める。
- ・ 対象分校は元本校だったが、中越戦争のため一時閉鎖された。今回新たに新本校としての整備が要請されている。
- ・ 既存本校は現在、小中併設校で敷地分割により新分校として整備することが要請されている。

教育効率

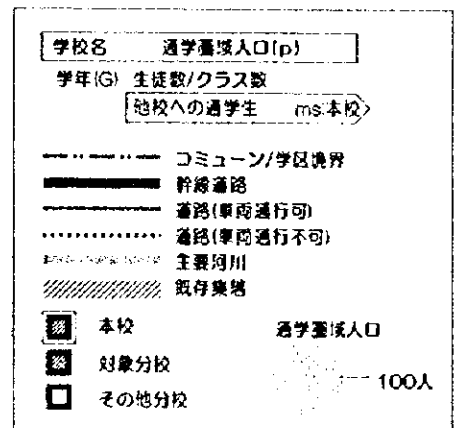
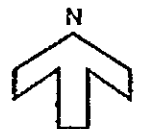
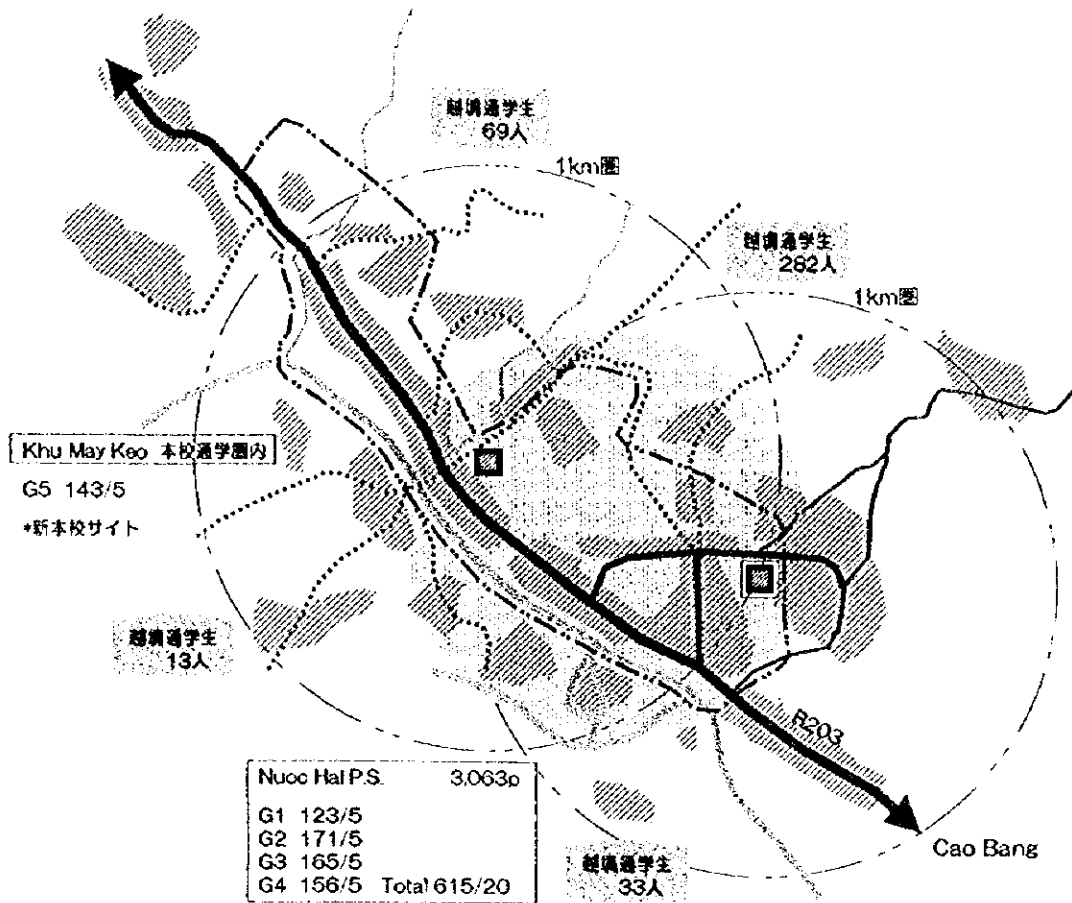
- ・ 就学児のほぼ全数が標準年齢児童(6-10歳)で各学年ほぼ平均しており、平準化が進んでいる。
- ・ 就学率、退学率等の指標からも内部効率は高い。
- ・ G1生徒が少ないのは、隣村からG2以上の生徒が比較的多く通学しているためである。

サイト状況

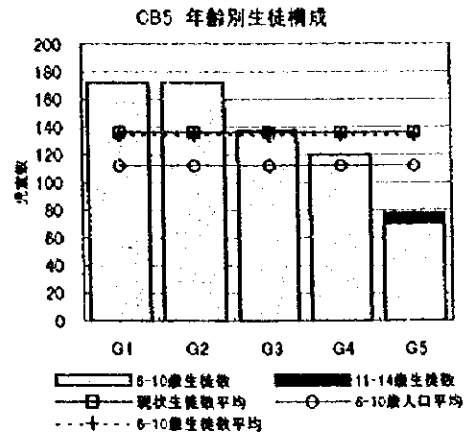
- ・ 新本校は現分校のサイトで98年に建設された新しい教室棟がある。敷地内に高低差があり、若干の造成が必要。

計画の考え方

- ・ 現在の運営状況から見て、新本校に必要な施設を集中整備することが効率的である。
- ・ それに伴い、新本校は教室数が不足するため、施設の増設整備が必要である。



Commune		School (本・分校合計)	
面積	24.79km <sup>2</sup>	生徒数合計	680人
人口	6,903人	教員数	29人
人口密度	278.5人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	3.92人	純就学率	119%
少数民族比	na	退学率(平均)	9%
主要少数民族	Tay(70%)	留年率(平均)	3%
	Nung	過齡児比率	1%
	Kinh	女子比率	41.2%



地域状況

- ・ Hoa An 郡の郡都 T.T. Nuoc Hai に隣接する。省都から20km。
- ・ 村の南西側を国道が通過し、国道沿いに集落が散在している。国道から東北部側に向かって山地が広がり、中央及び北部は険しい山間地となって交通条件に恵まれない。
- ・ Tay 族が多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校及び2分校からなる。本校は小中併設校で敷地分割による分離が要請されている。
- ・ 対象分校 (Tan Hong) は G1-3 だけの不完全校で本校に高学年が通うほか、隣村の小学校 (フランス援助) に越境通学している。他1分校も不完全校で高学年生徒は本校に通学している。
- ・ 西北部地域は河川で本校通学圏から分断され、隣町 (T.T. Nuoc Hai) の本校に越境通学している。越境通学 (流出) 生徒数は全生徒数の4割にあたる。

教育効率

- ・ 越境通学児が多く見かけ上就学率は100%を超えるが、女子生徒比率から見て未就学も残る。
- ・ 生徒数は高学年で落ち込む。ほぼ全数が標準年齢児童(6-10歳)であり、隣村への通学生を考慮すると平準化が進んでいると言える。
- ・ 性格差の是正と、内部効率の一層の向上が課題となる。

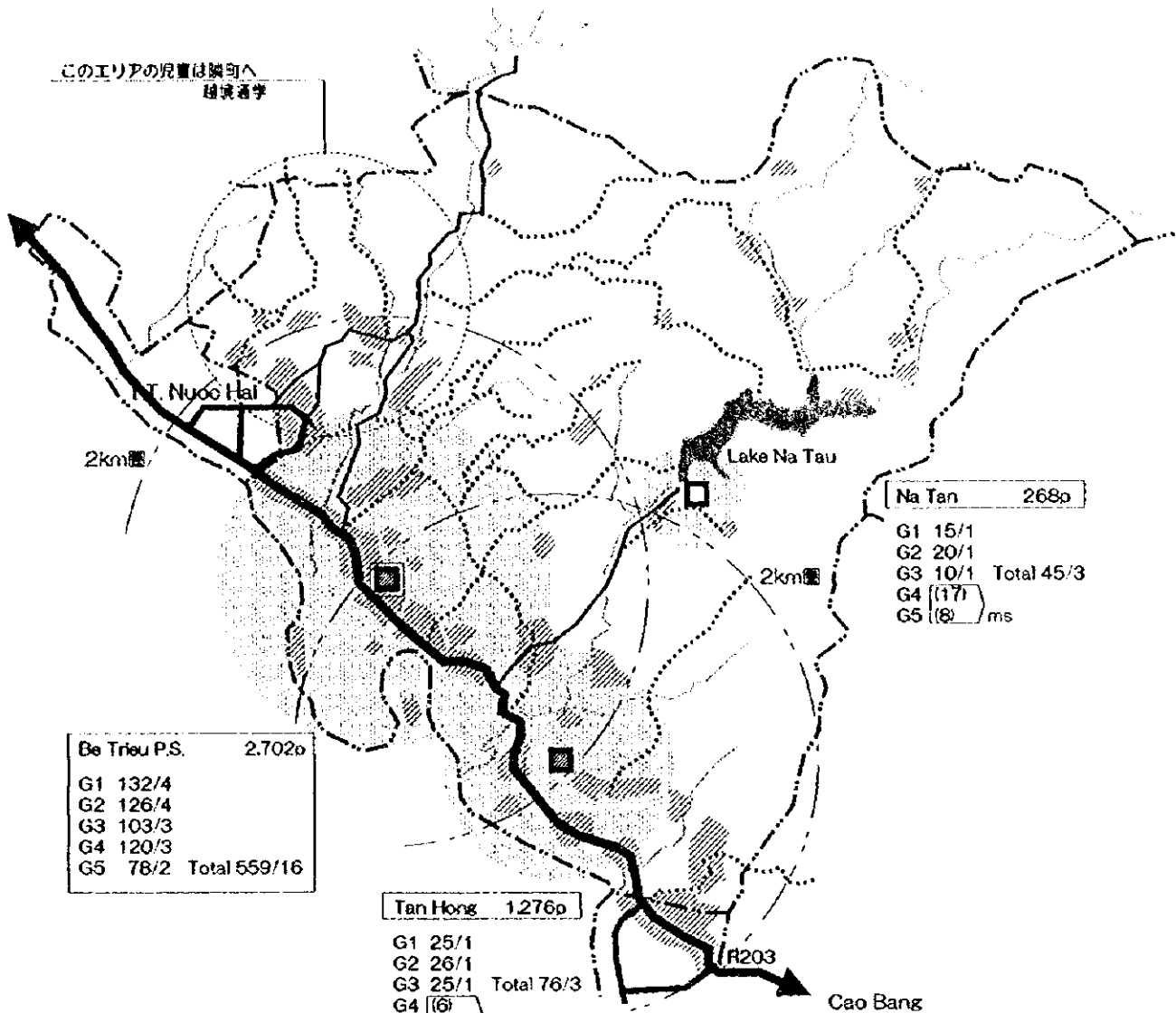
サイト状況

- ・ 本校サイトにはレンガ造の教室棟があり、大半は老朽化している。敷地内に段差があるが、造成の必要なし。
- ・ 対象分校サイトにはレンガ造の教室棟があり、老朽化している。

計画の考え方

- ・ 本校は大規模校で施設老朽化が激しく、建て替えによる緊急な環境改善の必要がある。
- ・ 対象分校は本校通学圏内にあり、上級学年分の施設を本校側で整備することが効率的である。

このエリアの児童は隣町へ  
越境通学

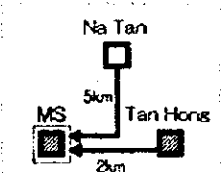
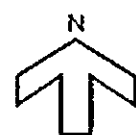


Be Trieu P.S.	2,702p
G1	132/4
G2	126/4
G3	103/3
G4	120/3
G5	78/2
<b>Total</b>	<b>559/16</b>

Na Tan	268p
G1	15/1
G2	20/1
G3	10/1
G4	(17)
G5	(8)
<b>Total</b>	<b>45/3</b>
ms	

Tan Hong	1,276p
G1	25/1
G2	26/1
G3	25/1
G4	(6)
G5	(4)
<b>Total</b>	<b>76/3</b>
ms	

隣村へ通学  
35人

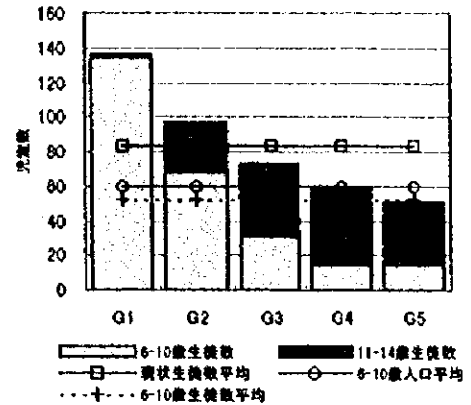


学校名	通学圏人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms 本校
<ul style="list-style-type: none"> <li>--- コミューン/学区境界</li> <li>== 幹線道路</li> <li>— 支路(車両通行可)</li> <li>..... 支路(車両通行不可)</li> <li>~~~~~ 主要河川</li> <li>//// 既存集落</li> </ul>	
	本校
	対象分校
	その他分校
	通学圏人口
	100人



Commune		School (本・分校合計)	
面積	28.75km <sup>2</sup>	生徒数合計	418人
人口	3,062人*	教員数	17人
人口密度	106.5人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	4.53人	純就学率	105%
少数民族比	100%	退学率(平均)	1%
主要少数民族	Tay(60%)	留年率(平均)	24%
	Nung(40%)	過齡児比率	34%
	H'mong(10%)	女子比率	54.3%
* 対象校学区は2,241人			

CB6 年齢別生徒構成



地域状況

- ・ Tra Linh 郡の郡都、省都から30kmに位置する。
- ・ 村の中央を南北に国道が通過し、国道に沿って集落が集まっている。中央及び南西部地域は地形の険しい山間地であり、交通条件に恵まれない。
- ・ Tay 及び Nung 族が多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校が2校ある。対象校は村北西部を学区とし、本校及び2分校からなる。本校は300人を超す大規模校、現在は小中併設校で敷地分割による分離が要請されている。
- ・ 対象分校(Lung Han)はG1--G3の不完全校で本校への通学者はいない。中越戦争のため一時閉鎖され、今年度G3まで復旧した。次年度はG4のクラスを設置予定。

教育効率

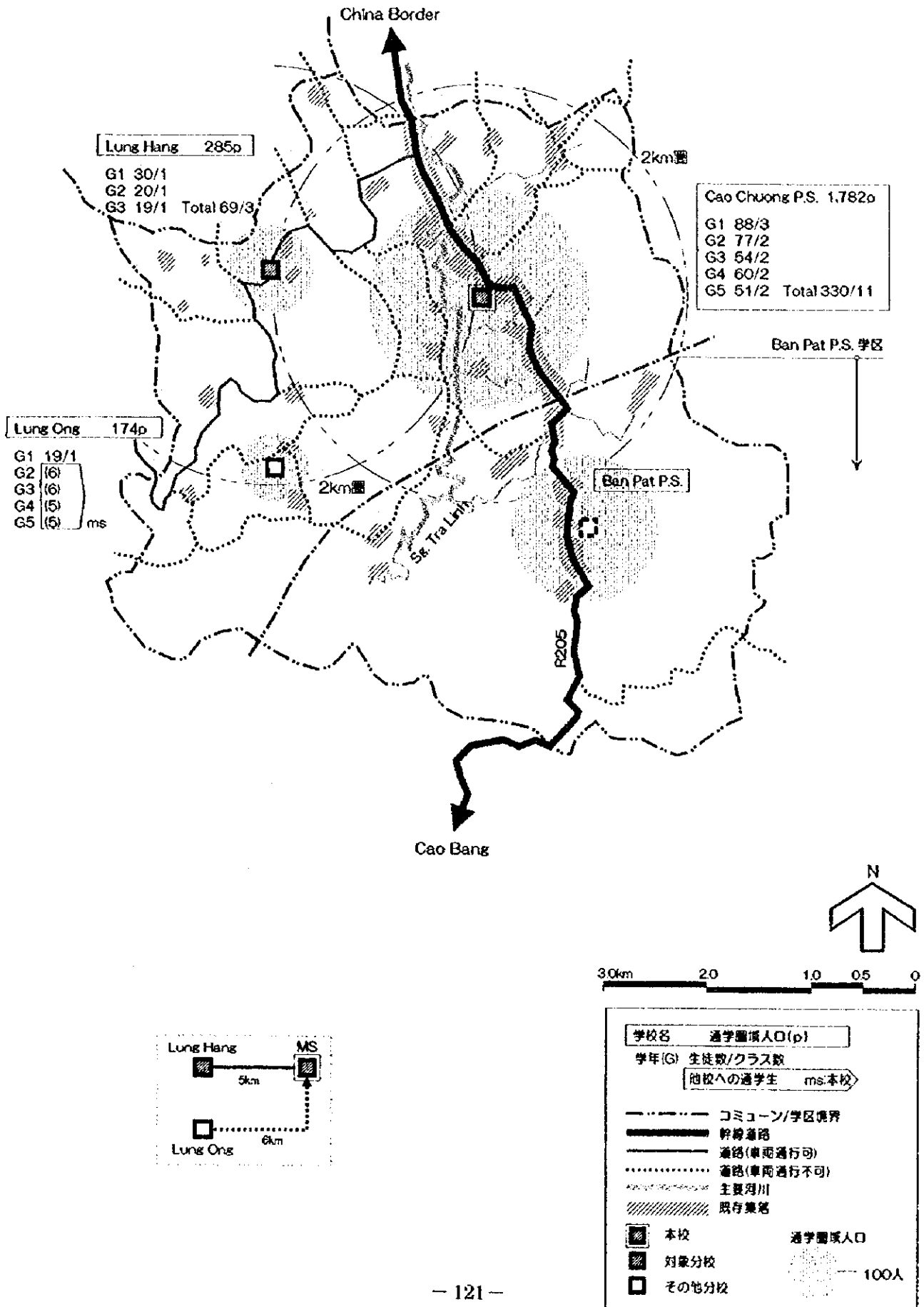
- ・ 就学率が高いが、標準年齢児童の多くが低学年に集中している。
- ・ 過齡児比率も高く、低学年でも比較的多い。入学年齢の高さと内部滞留が考えられる。
- ・ 進級率を高め、内部効率を改善することが課題となる。

サイト状況

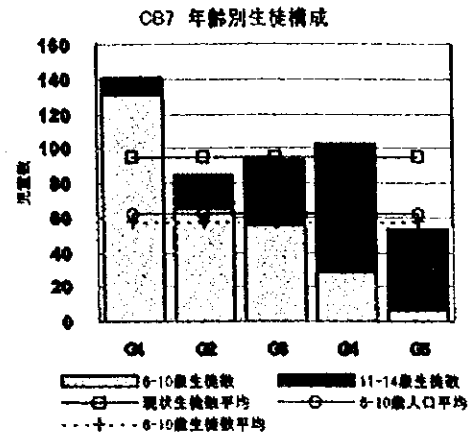
- ・ 本校サイトにはレンガ造の教室棟があるが老朽化が激しい。敷地内には一部段差、窪地があるものの造成の必要は無し。
- ・ 対象分校サイトには木造土壁の仮設教室棟がある。敷地中央にテーブル状の小山、段差があり大規模な造成が必要。

計画の考え方

- ・ 本校は大規模校で施設老朽化が激しく、建て替えによる緊急な環境改善の必要がある。
- ・ 対象分校は規模が小さく、本校通学可能圏にあることから、上級学年分の施設を本校側で整備することが効率的である。



Commune		School (本・分校合計)	
面積	23.42km <sup>2</sup>	生徒数合計	473人
人口	2,445人	教員数	22人
人口密度	104.4人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	5.07人	純就学率	102%
少数民族比	100%	退学率(平均)	12%
主要少数民族	Tay(50%)	留年率(平均)	14%
	Nung(40%)	過齡児比率	39%
	H'mong(10%)	女子比率	46.1%



**地域状況**

- ・ Tra Linh 郡北部、省都から30kmに位置する。
- ・ 村城の大半を占める山地の合間を縫って東西に省道が貫通している。省道沿いに集落が集まっている。山間地の集落は交通条件が恵まれない。
- ・ Tay 及び Nung 族が多数を占める。

**学校運営状況**

- ・ 本校と2分校がある。本校は大規模校で現在、小中併設校。敷地分割による分離が要請されている。
- ・ 2分校はいずれもG1-G3のみの不完全校で本校に高学年生徒が通っている。

**教育効率**

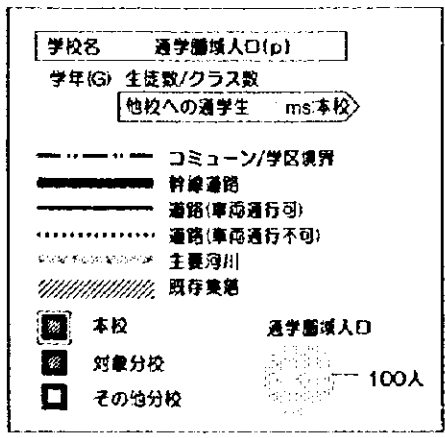
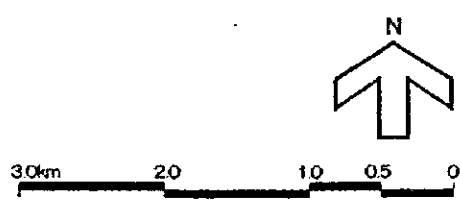
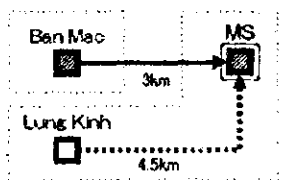
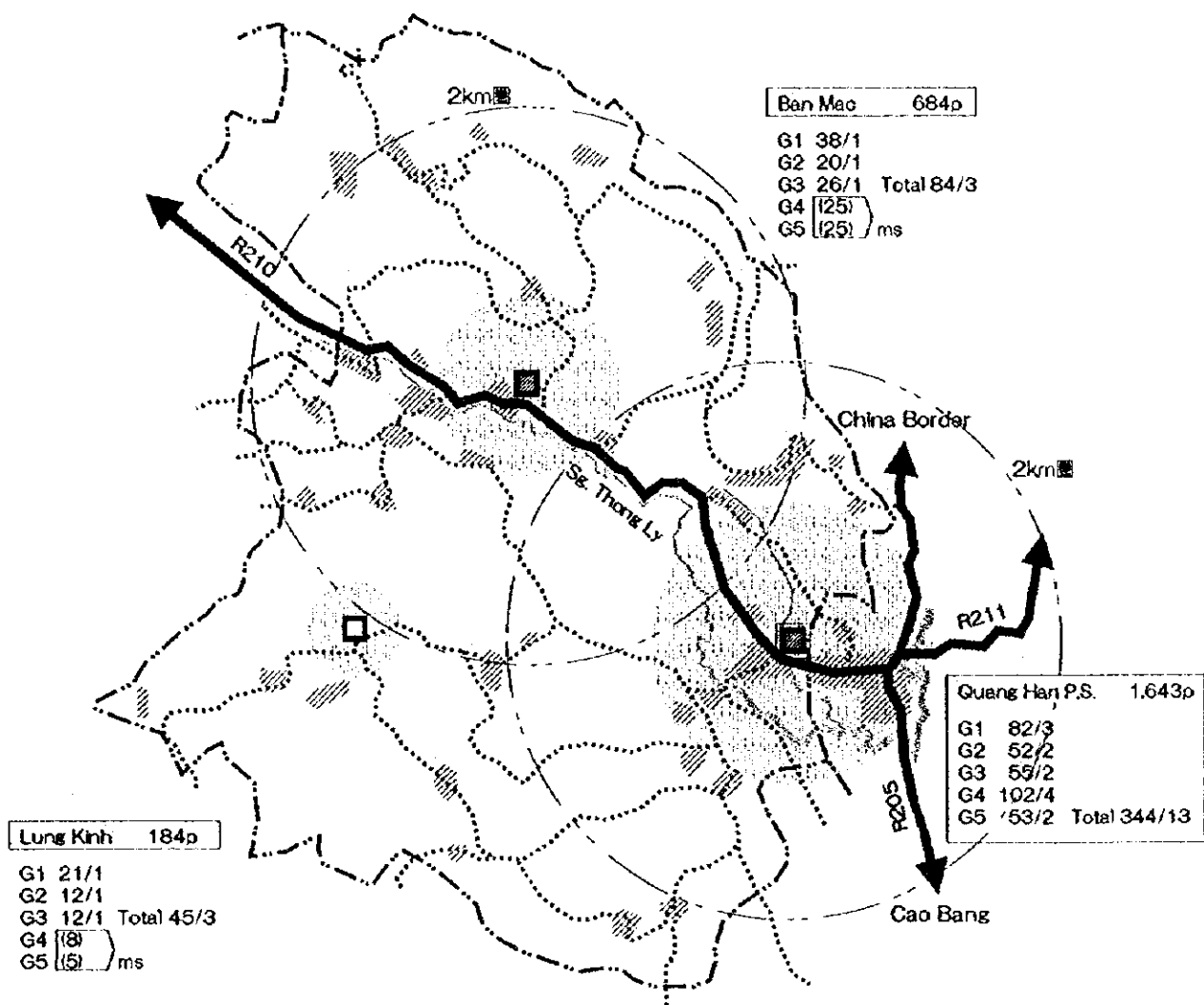
- ・ 就学率が高いが、退学・留年も比較的多い。
- ・ 過齡児比率も顕著に高く、入学の遅れと内部滞留の多さが考えられる。
- ・ 進級率を高め、内部効率を改善することが課題となる。

**サイト状況**

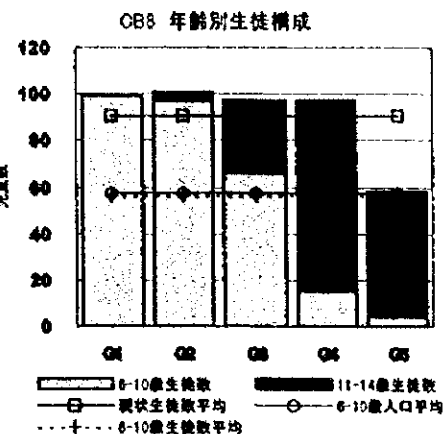
- ・ 本校サイトにはレンガ造及び木造土壁の教室棟があり、いずれも老朽化している。ほかに教員宿舎等がある。敷地内に段差があるものの造成の必要なし。
- ・ 対象分校サイトは細長の敷地で、木造土壁の仮設教室棟がある。

**計画の考え方**

- ・ 本校は大規模校で施設老朽化が激しく、建て替えによる緊急な環境改善の必要がある。
- ・ 対象分校は仮設建家で建替えの緊急性が高い。完全校として増設整備することで内部効率の向上が期待できる。



Commune		School (本・分校合計)	
面積	12.84km <sup>2</sup>	生徒数合計	452人
人口	2,083人	教員数	17人
人口密度	162.2人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	5.38人	純就学率	100%
少数民族比	100%	退学率(平均)	3%
主要少数民族	Nung(100%)	留年率(平均)	22.5%
		過齡児比率	36%
		女子比率	49.8%



地域状況

- Quang Hoa 郡の郡都に隣接している。省都からは35km。
- 平地に石灰岩質の小山が散在する。
- 村域は東西に長く、国道も東西に伸びている。人口は平地に分散し、交通アクセスは比較的良好。
- Nung 族 100%の村である。

学校運営状況

- 本校及び1分校からなる。本校は大規模校で、現在小中併設校。隣接新サイトへの分離・転出が要請されている。
- 分校はG1のみで、G2以上は本校に通っている。G2生徒でも3-4kmを通学している。

教育効率

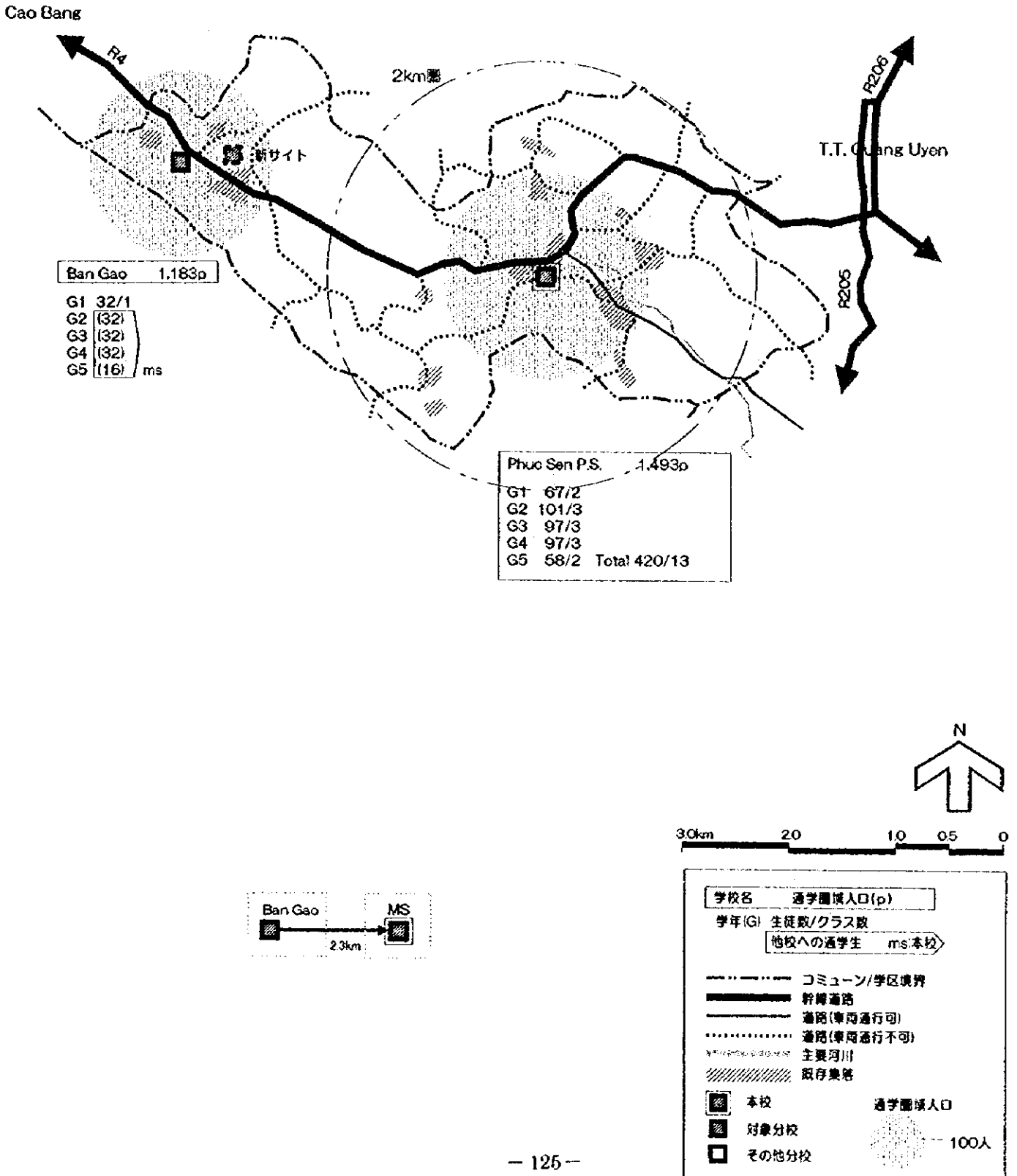
- 就学率は高く、退学率も低い。
- 生徒数はほぼ一定しているがG5で大きく落ち込む。上級学年での過齡児比率が高く、内部滞留が大きいと考えられる。
- 進級率を高め、内部効率を改善することが課題となる。

サイト状況

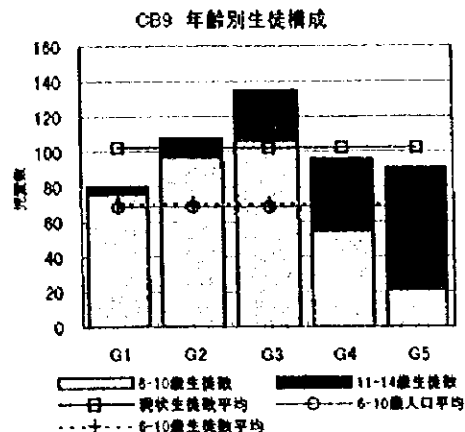
- 本校新サイトは一部窪地があるものの平坦、岩があちこちで露出している。
- 対象分校は現在借用教室での運営で、新サイトへの移転が要請されている。

計画の考え方

- 本校は大規模校であり、施設は老朽化・不足している。分離・移転により施設環境の改善が必要となる。
- 対象分校は新サイトへの移転による建て替えに加え、完全校としての増設整備を行うことで施設環境の改善を図る。



Commune		School (本・分校合計)	
面積	31.33km <sup>2</sup>	生徒数合計	509人
人口	3,676人	教員数	24人
人口密度	117.3人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	5.86人	純就学率	105%
少数民族比	100%	退学率(平均)	3%
主要少数民族	Nung(50%)	留年率(平均)	13%
	Tay(50%)	過齡児比率	30%
		女子比率	51%



地域状況

- Quang Hoa 郡の郡都に隣接し、省都から45kmに位置する。
- 国道が村全体を網羅するように縦横に走っている。平地に石灰岩質の小山が散在する。人口は平地に分散し、交通アクセスは比較的良好。
- Tay 及び Nung 族が 100%を占める。

学校運営状況

- 村には本校が2つある。対象校は北部を学区とし、本校及び1分校からなる。本・分校は同規模であり、生徒の行き来はない。おのおの4km程度の広い通学圏をカバーする。
- 隣村からの越境通学が多く、全生徒数の3割弱が越境児童である。

教育効率

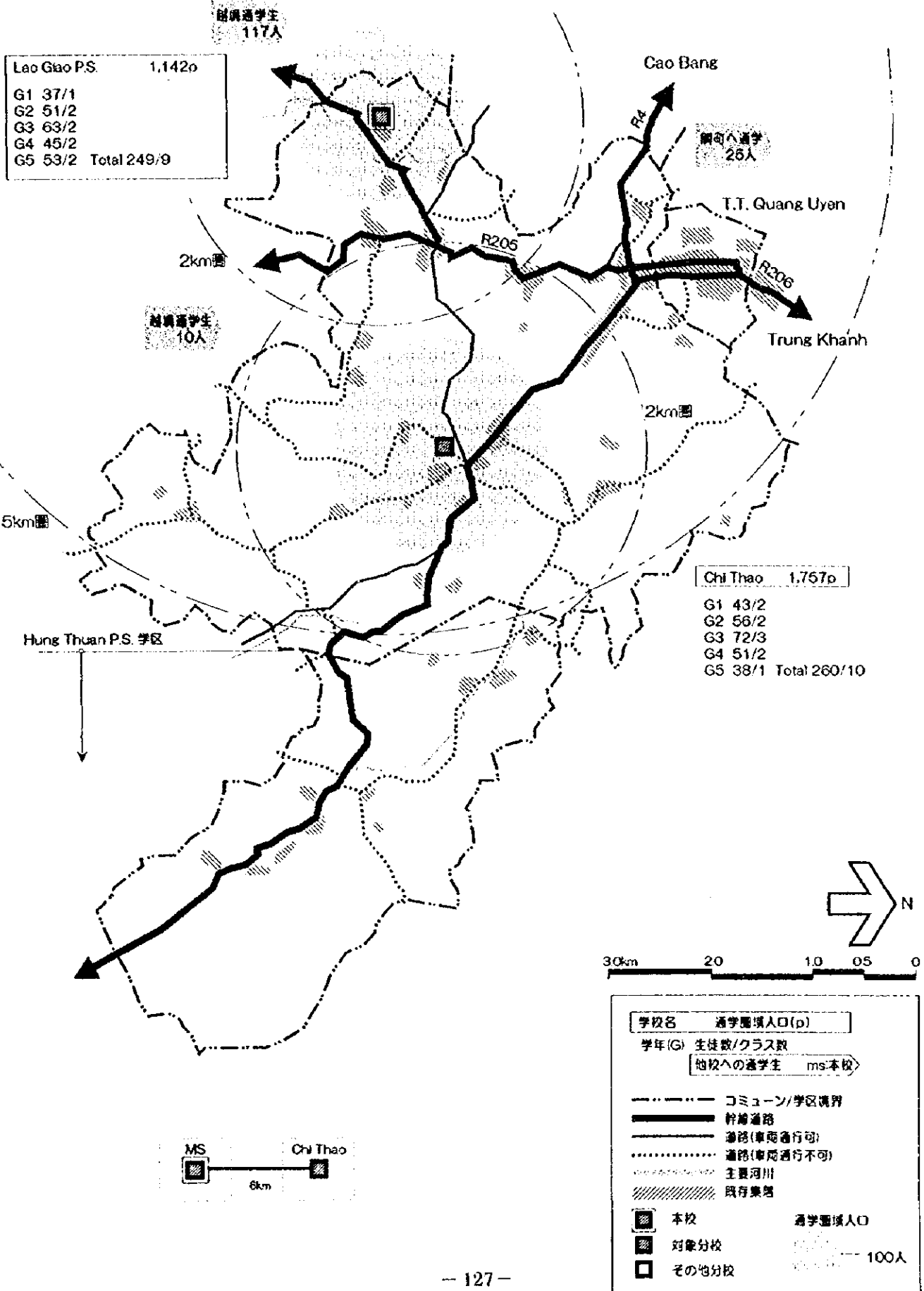
- 就学率は高く、退学率も低い。
- 生徒数は隣村からの高学年生徒流入のためG1→G3で増加する。過齡児は高学年で多く、入学の遅れと内部滞留の多さが考えられる。
- 進級率の向上による内部効率の改善が課題となる。

サイト状況

- 本校はすべて木造土壁の仮設教室棟。敷地内は平坦で造成の必要なし。
- 対象分校もすべて木造土壁の仮設教室棟。敷地内は平坦で造成の必要なし。

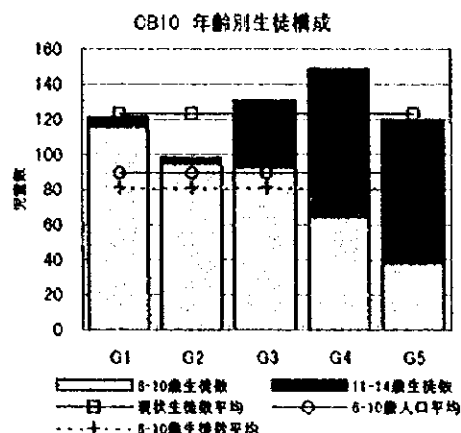
計画の考え方

- 本校は施設老朽化が激しく、建て替えによる緊急な環境改善の必要がある。
- 対象分校は広い範囲をカバーし、本校並みの規模を持つ。施設は老朽化しており、緊急な環境改善の必要がある。





Commune		School (本・分校合計)	
面積	13.68km <sup>2</sup>	生徒数合計	618人
人口	2,109人	教員数	28人
人口密度	151.2人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	4.66人	純就学率	91%
少数民族比	100%	退学率(平均)	3%
	Tay(60%)	留年率(平均)	14.7%
主要少数民族	Nung(40%)	過齡児比率	34%
	Kinh	女子比率	52.1%



### 地域状況

- ・ Trung Khanh 郡南部、省都から50kmに位置する。
- ・ 国道が村の中央を貫通しており、沿道に集落が散在している。平地に石灰岩質の小山が散在する。人口は平地に分散し、交通アクセスは比較的良好。
- ・ 民族的には Tay 及び Nung 族が多数を占める。

### 学校運営状況

- ・ 本校と1分校がある。本校は500人クラスの大規模校。分校はG1-G4までの不完全校でG5生徒が本校に通っている。
- ・ 隣村からの越境通学が多く、全生徒数の4割程度が隣村の生徒である。

### 教育効率

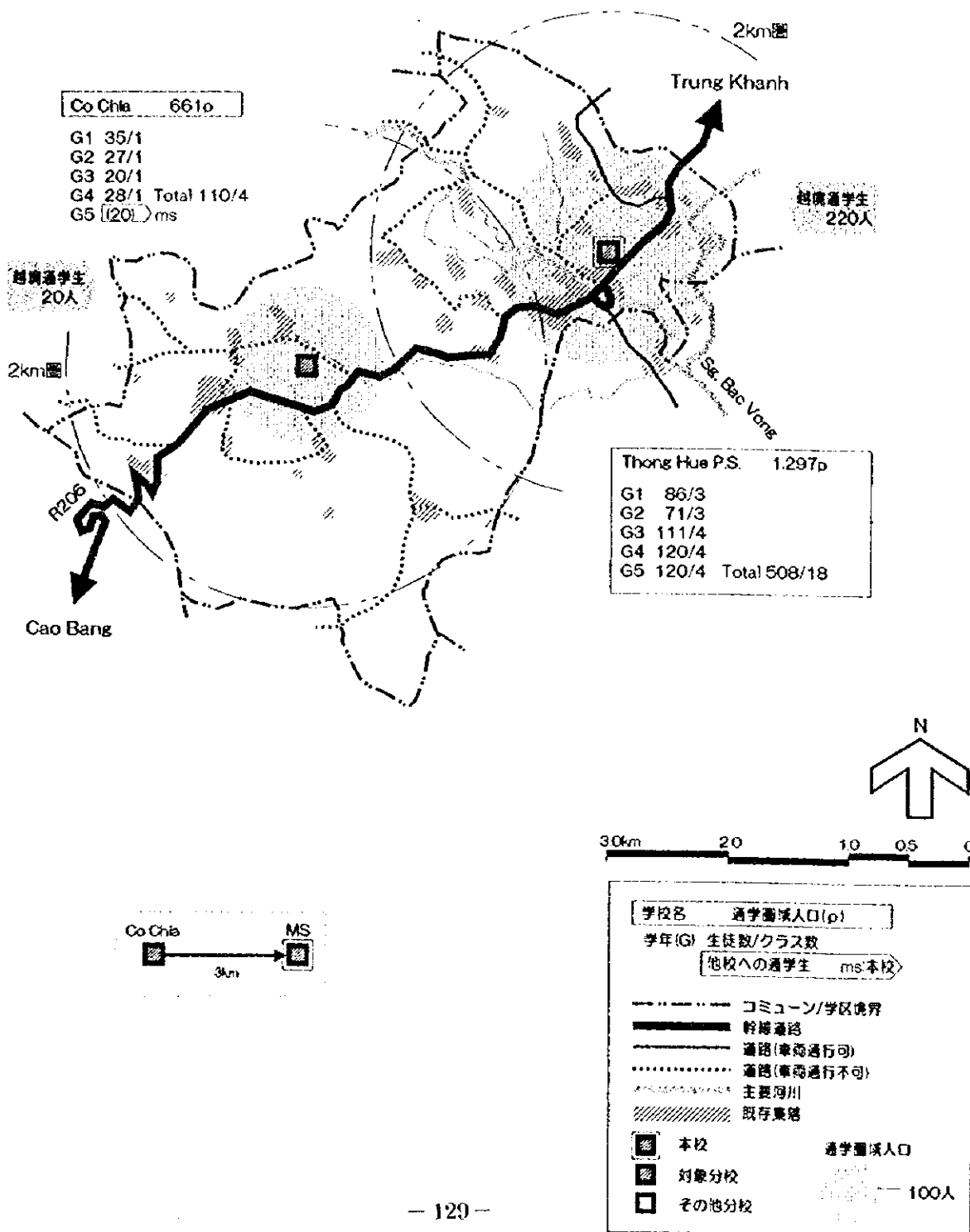
- ・ 就学率が高いが一部未就学も残る。退学も少ない。
- ・ 上級学年で過齡児の比率が高く、生徒数も多い。入学の遅れと内部滞留の多さが考えられる。
- ・ 就学率の一層の向上と進級率の改善が課題となる。

### サイト状況

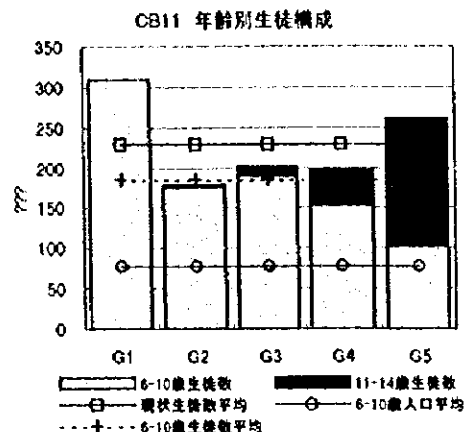
- ・ 本校サイトにはレンガ造及び石の組積造教室棟があり、大半は老朽化している。ほかに教員宿舎がある。敷地内は平坦で、アクセスも良好。
- ・ 対象分校サイトには98年新築のレンガ造教室棟がある。

### 計画の考え方

- ・ 本校は大規模校で施設老朽化が激しく、建て替えによる緊急な環境改善の必要がある。
- ・ 対象分校には近年新設された既存教室棟があり、本校通学圏内であることから、上級学年分の施設を本校側で整備することが効率的である。



Commune		School (本・分校合計)	
面積	4.68km <sup>2</sup>	生徒数合計	1,145人
人口	3,860人	教員数	43人
人口密度	824.8人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	4.16人	純就学率	142%
少数民族比	90%	退学率(平均)	7%
主要少数民族	Tay(60%)	留年率(平均)	20%
	Nung(30%)	過齡児比率	19%
	Kinh(10%)	女子比率	50%



地域状況

- ・ Trung Khanh 郡の郡都、省都から65kmに位置する。
- ・ 町域は狭く郡都として市街地化が進んでいる。地形は平らで交通条件にも恵まれている。
- ・ Tay 及び Nung 族が多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校と2分校がある。本校は1000人クラスの大規模校で、隣村からの越境通学が多く、全生徒数の4割弱が隣村の生徒である。
- ・ 2分校は仮設及び賃貸教室で授業を行っている。G1とG4生徒のみの不完全校であり、本校を補完する位置付けにある。

教育効率

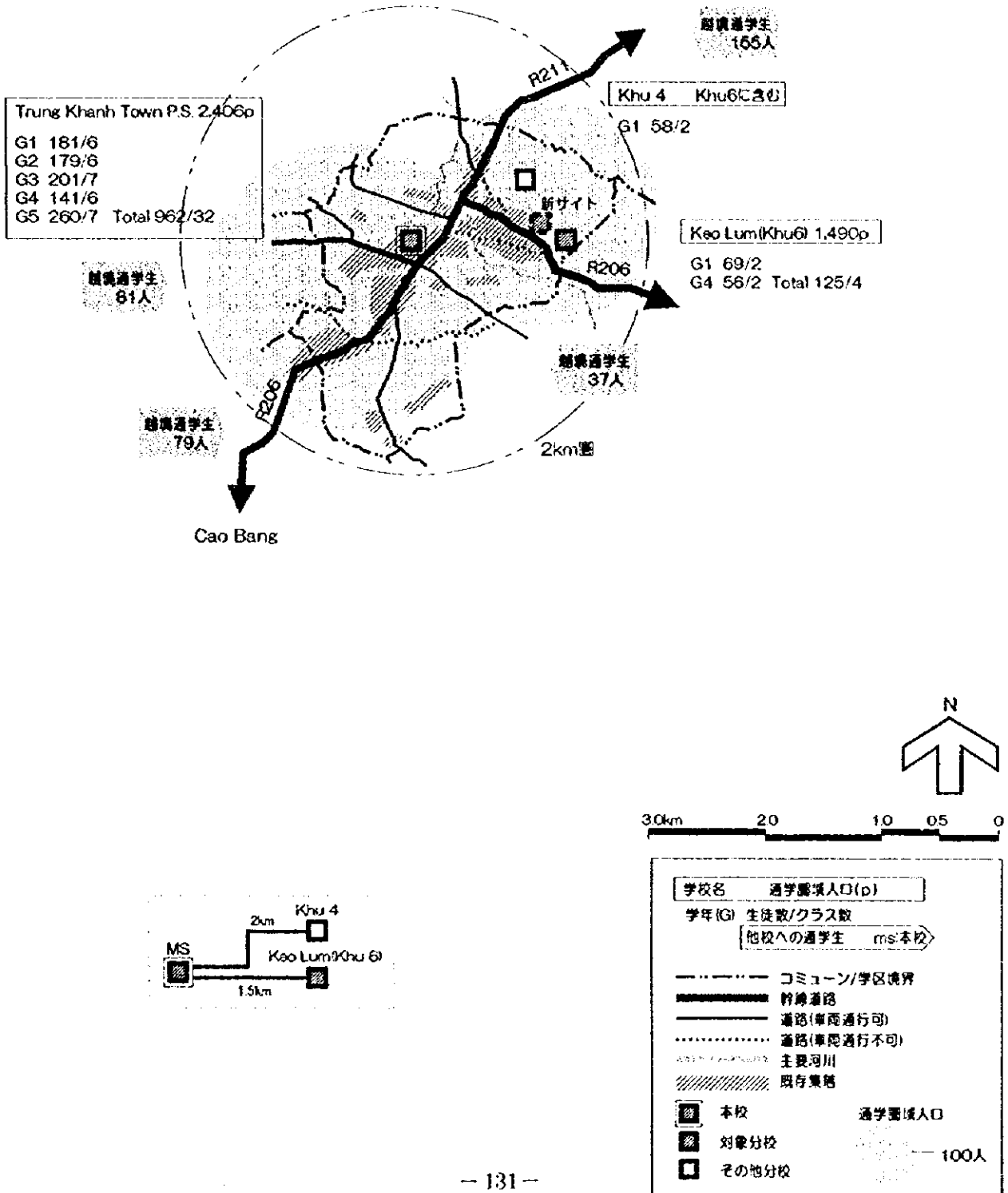
- ・ 就学率が高い。退学率は改善の余地がある。学年別生徒数はG1→G2で大きく減り、またG5が突出して多く、過齡児の割合も高い。G5が多いのは越境による影響または内部滞留と考えられる。
- ・ 退学率および進級率の改善を図り、内部効率を引き上げることが課題。

サイト状況

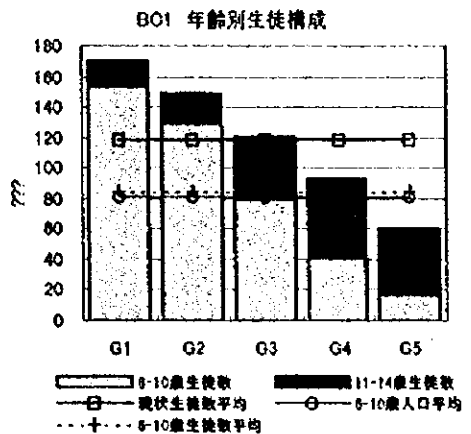
- ・ 本校サイトにはレンガ造または石の組積造の教室棟があり、過半が老朽化している。敷地内は平坦で、アクセスも良好。
- ・ 対象分校は2分校の統合と新サイトへの移転が要請されている。新敷地は平坦地で、アクセスも良好。

計画の考え方

- ・ 町域は狭く、本・分校を別々に整備するよりも本校を集中的に整備する方が効果は高い。
- ・ 本校は施設老朽化が激しく、建て替えによる緊急な環境改善の必要がある。



Commune		School (本・分校合計)	
面積	59.76km <sup>2</sup>	生徒数合計	592人
人口	3,071人	教員数	27人
人口密度	51.4人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	5.36人	純就学率	104%
少数民族比	84%以上	退学率(平均)	4%
主要少数民族	Tay(57%)	留年率(平均)	7%
	Dao(27%)	過齡児比率	29%
	Nung	女子比率	48.8%



地域状況

- ・ Ba Be 郡に中部、省都から60kmに位置する。
- ・ 村域は南北に長く、大半が険しい山間地となっている。国道は南側を東西に貫通するのみで大半の部分は交通条件が悪い。集落は国道沿いに偏在せず、不便な山間地に満遍なく散在する。
- ・ Tay 及び Dao 族が多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校及び9分校からなる。本校は小規模だが、全ての分校から高学年生徒が通学・寄宿している。
- ・ 分校はいずれも不完全校。対象分校(Na Nieng)は元本校で1分校を抱える準本校。

教育効率

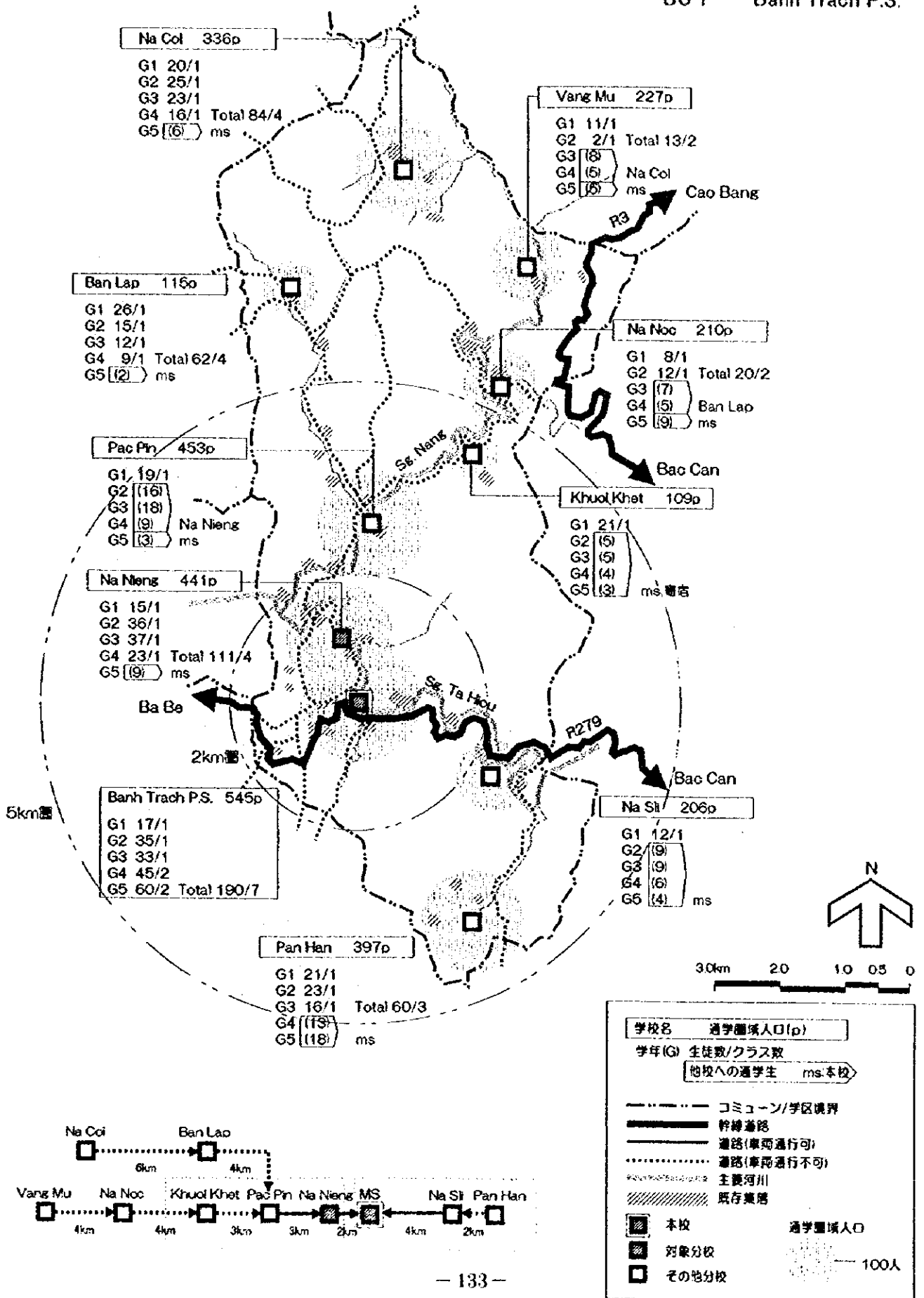
- ・ 就学率は高く、退学率は低い。現在生徒数はG1→G5で大きく落ち込みG5生徒数はG1の1/3程度となるが、今後平準化が進むと思われる。
- ・ 過齡児比率は高く、低学年でも見られる。
- ・ 入学年齢の高さを是正し、上級学年への進級環境を整えることが課題である。

サイト状況

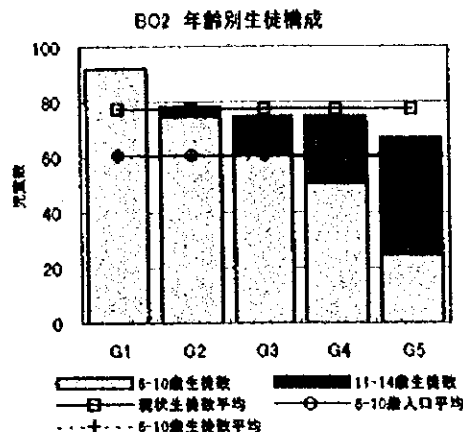
- ・ 本校サイトは木造竹壁の仮設教室が点在する。敷地内は全面的に傾斜し、建物の配置に応じて棚状に緩い段ができています。アクセスは良好。
- ・ 分校サイトにはレンガ造の教室棟があるが老朽化が激しい。敷地内は全面的に傾斜しているが造成の必要なし。アクセスは良好。

計画の考え方

- ・ 本校は全ての施設が仮設建家であることから、施設環境の改善が必要である。
- ・ 対象分校は老朽施設の建替えと共に、準本校として施設の増設整備が必要である。



Commune		School (本・分校合計)	
面積	72.07km <sup>2</sup>	生徒数合計	387人
人口	2,023人	教員数	22人
人口密度	28.1人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	na	純就学率	95%
少数民族比	97%	退学率(平均)	2%
主要少数民族	Tay(43%)	留年率(平均)	13%
	H'mong(30%)	過剰児比率	22%
	Dao(15%)	女子比率	41.6%



地域状況

- ・ Cho Don 郡南部、省都から70kmに位置する。
- ・ 村城の大半は険しい山間地となっている。国道は村の北側を東西に貫通し、人口の大半が国道沿いの集落に集中している。
- ・ 国道から最も離れた南端部に幾つかの集落が集まっているが、国道沿いへの交通アクセスが絶たれている。
- ・ Tay 及び H'mong 族が多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校及び4分校からなる。本校へは1分校から高学年生徒が通学している。
- ・ 4分校のうち3校は南部山間部の遠隔地に集中しており、完全校である1校(Ban Poo)がこれらの準本校となっている。(当初、この分校が要請対象であったが、アクセス不可のため変更。)

教育効率

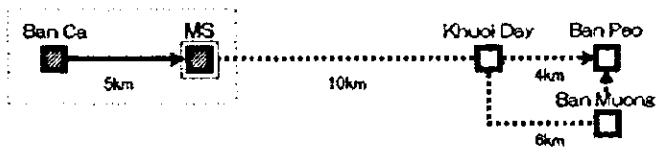
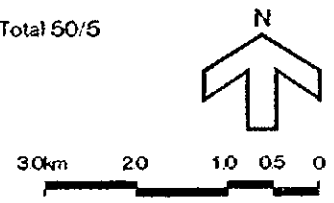
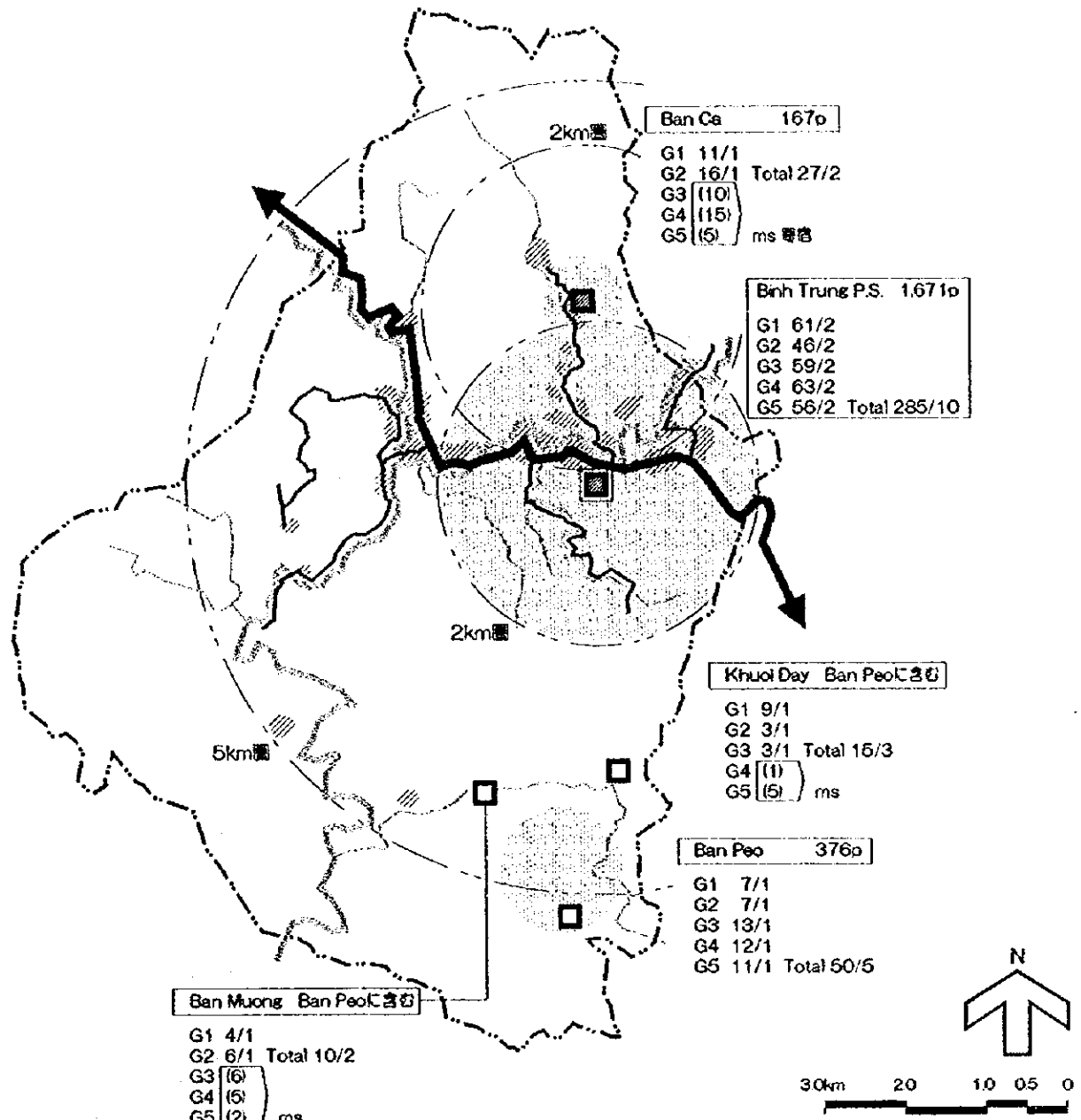
- ・ 就学率は比較的高く、退学率は低い。生徒数はG1→G5で緩やかに減少傾向にあり、高学年では過剰児も一定存在する。
- ・ 就学率・進級率を一層向上させ、内部効率の改善を図ることが課題となる。

サイト状況

- ・ 本校サイトは木造竹壁ヤシ葺きの仮設教室が点在する。敷地内は高低差があり棚状になっている。また、サイトへは吊り橋によるアクセスのみ。
- ・ 対象分校サイトには98年新築のレンガ造教室棟がある。

計画の考え方

- ・ 本校は全ての施設が仮設建家であることから、緊急な施設環境の改善が必要である。
- ・ 対象分校は近年新設された既存教室があり、距離及び現状通学状況から見て、本校側で上級学年分の施設整備を行うことが効率的である。



学校名	通学圏域人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms:本校

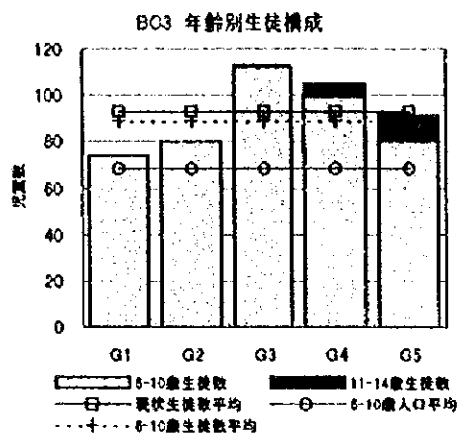
--- コミューン/学区境界  
 幹線道路  
 道路(車両通行可)  
 道路(車両通行不可)  
 主要河川  
 既存集落

本校  
 対象分校  
 その他分校

通学圏域人口  
 100人



Commune		School (本・分校合計)	
面積	39.40km <sup>2</sup>	生徒数合計	463人
人口	2,352人	教員数	23人
人口密度	59.7人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	4.31人	純就学率	129%
少数民族比	75%以上	退学率(平均)	7%
主要少数民族	Tay(59%)	留年率(平均)	3%
	Dao(16%)	過剰児比率	5%
	Kinh	女子比率	49.2%



地域状況

- Cho Moi 郡南部、省都から40kmに位置する。
- 村域の大半は険しい山地である。国道から村に入る道には橋がなく、渡河する必要がある。
- 村の南側の川沿いを省道が東西に走っており、集落が集中している。人口の大半がこの地域に住んでいる。
- この省道は人民委員会や本校などが集まる村の西側から、対象分校のある村の東側までをつなぐ。省道から遠く離れた村の北側にも集落があり、交通条件が悪い。
- Tay 及び Dao 族が多数を占める。

学校運営状況

- 本校及び2分校からなる。本校と対象分校は同規模で、生徒の行き来はなく、それぞれ独立した通学圏を構えている。本校は現在、小中併設校で敷地分割による小中分離が要請されている。
- 対象分校の通学圏は最遠8kmと広い。また他1分校から高学年が通学する準本校となっている。

教育効率

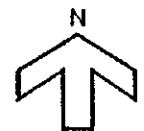
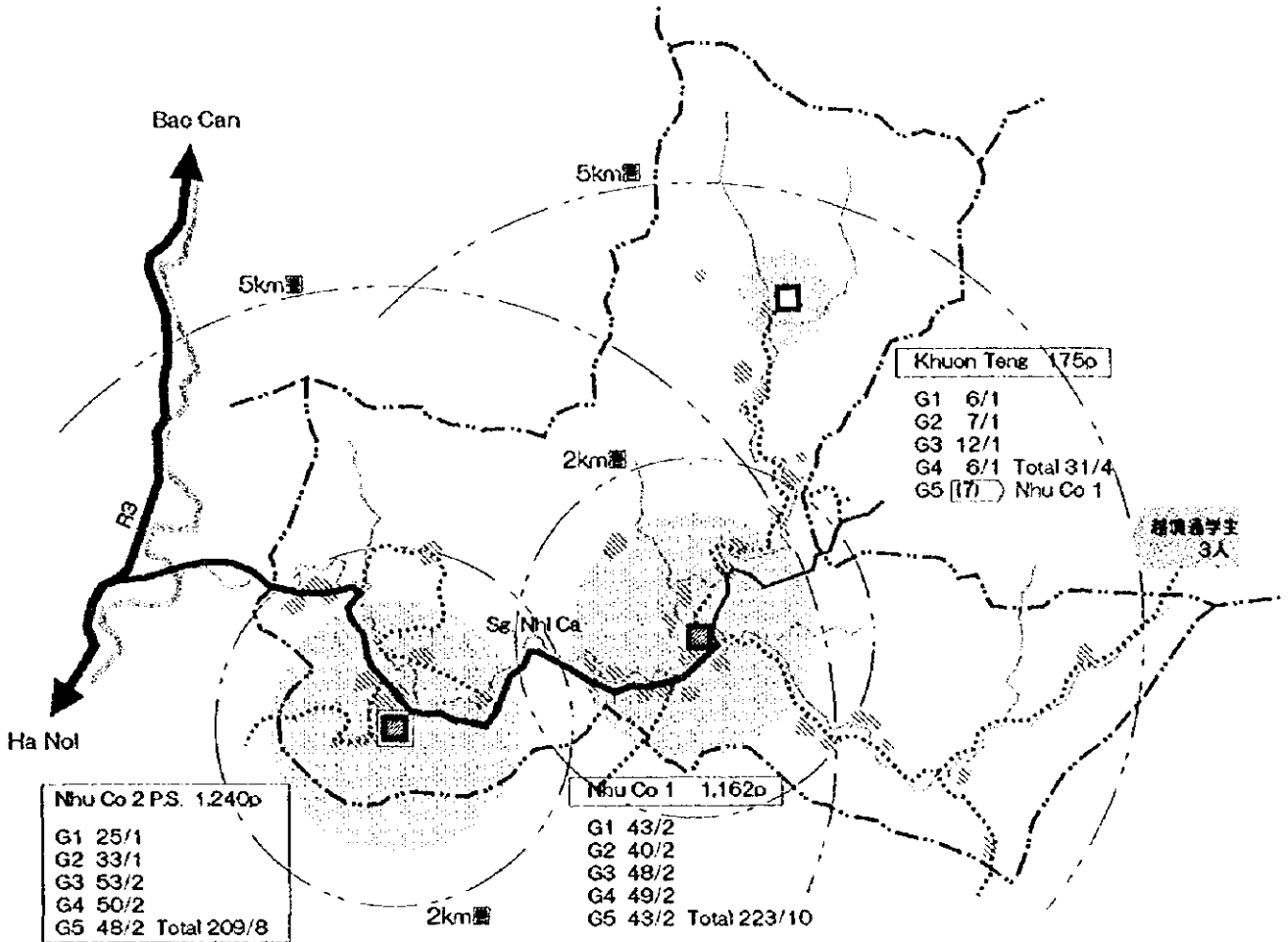
- 就学率は高く、就学児童のほとんどが標準年齢児童(6-10歳)である。
- 学年別生徒数のばらつきは年による生徒数の変動を受けたものと考えられる。
- 生徒構成は安定した状態と言えるが、内部効率の一層の改善が期待される。

サイト状況

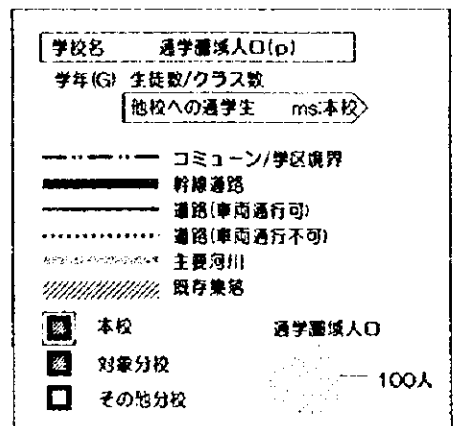
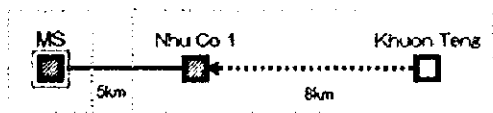
- 本校サイトは人民委員会、保健所の隣接地。木造仮設の教室棟があり、敷地は平坦。
- 対象分校サイトにはレンガ造及び木造の教室棟があり、いずれも疲弊している。

計画の考え方

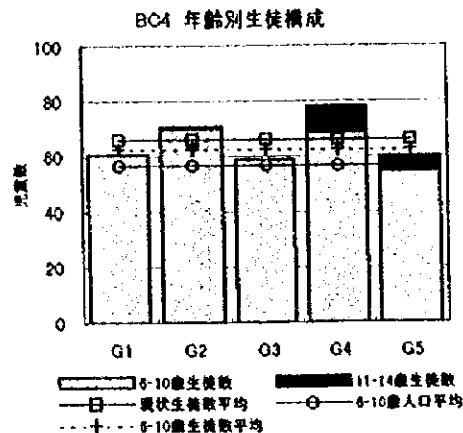
- 本校は全ての施設が仮設建家で老朽化が激しく、緊急な施設環境の改善が必要である。
- 対象分校は既に準本校として機能しているが、施設環境は劣悪で緊急な改善整備が必要である。



30km 20 1.0 05 0



Commune		School (本・分校合計)	
面積	26.50km <sup>2</sup>	生徒数合計	329人
人口	2,257人	教員数	15人
人口密度	85.2人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	na	純就学率	111%
少数民族比	86%以上	退学率(平均)	3%
主要少数民族	Tay(70%)	留年率(平均)	5%
	Dao(16%)	過齡児比率	5%
	Kinh	女子比率	42.9%



地域状況

- ・ Bach Thon 郡北部、省都から25kmに位置する。
- ・ 村域は東西に長く、大半は険しい山間地となっている。省道は村境を通っていて、中央を流れる川沿いに未舗装路が通る。この道路が村の唯一の交通手段であり、主要集落もこの道沿いにある。
- ・ Tay 及び Dao 族が多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校及び1分校からなる。本校は大規模校(300人以上)であり、対象分校からG1-G5が通学している。
- ・ 対象分校には隣村から越境通学する生徒がいる。

教育効率

- ・ 就学率は高く、就学児童のほとんどが標準年齢児童(6-10歳)である。
- ・ 学年別生徒数はバラツキはあるものの、ほぼ横這いで安定した状態と言える。
- ・ 内部効率の一層の改善が期待される。

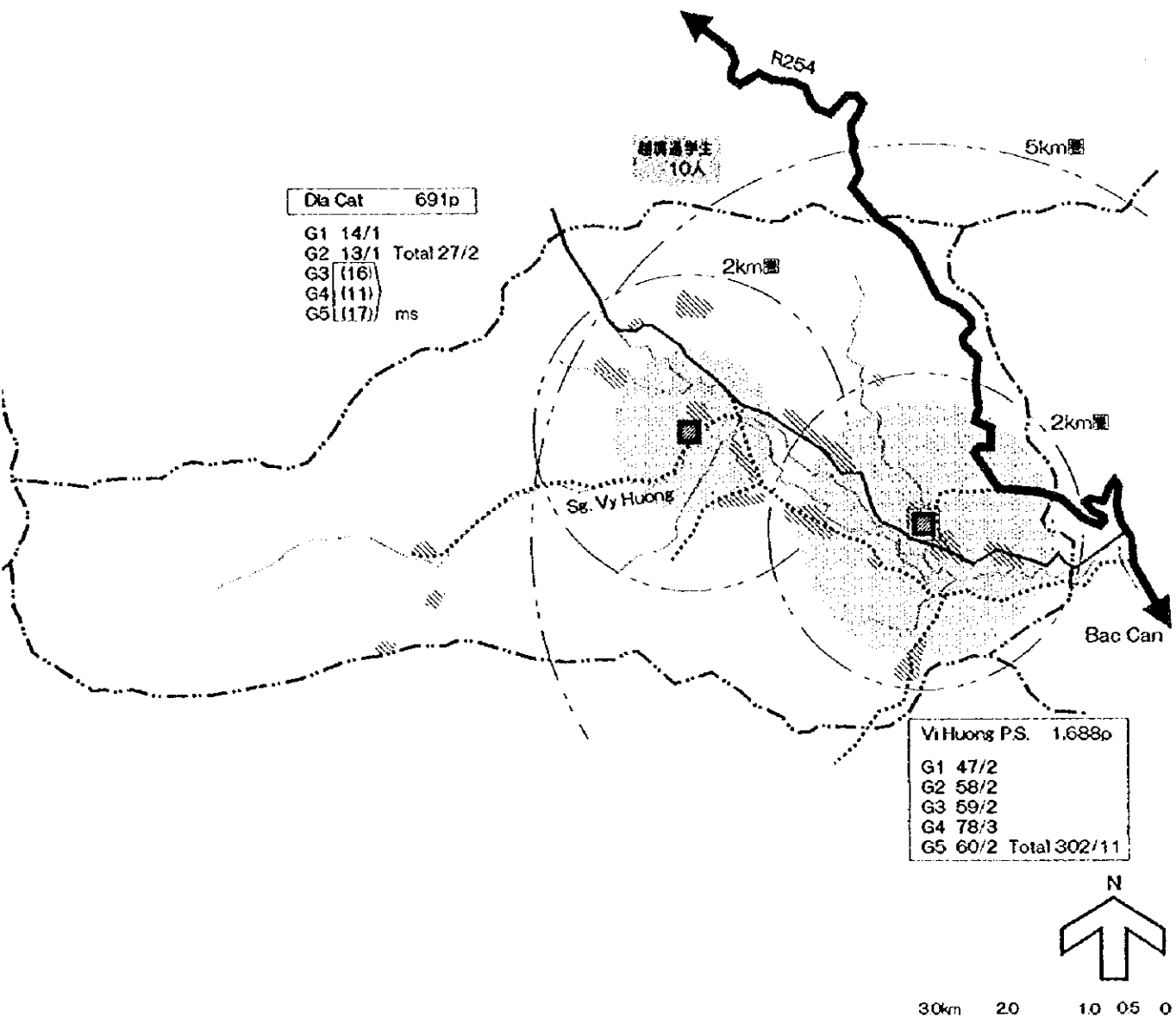
サイト状況

- ・ 本校サイトは周辺土地より高いテーブル状の平坦地で、木造土壁の仮設教室がある。
- ・ 対象分校サイトには木造の仮設教室がある。敷地は狭小で、建設に十分な広さに拡張できない。

計画の考え方

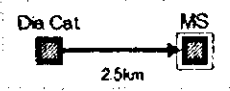
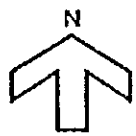
- ・ 本校は全ての施設が仮設建家で老朽化が激しく、緊急な施設環境の改善が必要である。
- ・ 対象分校は敷地条件が厳しく、距離及び現状通学状況から見て、本校側で上級学年分の施設整備を行うことが効率的である。

BC 4 Vi Huong P.S.



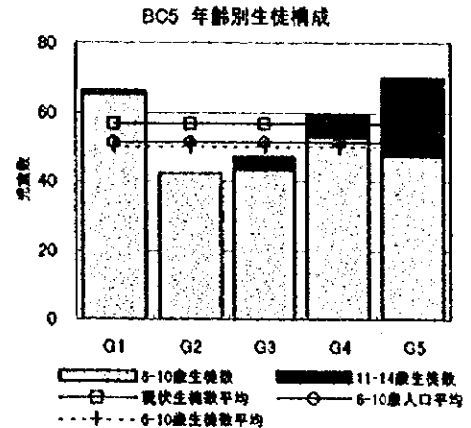
Dia Cat	691p
G1	14/1
G2	13/1 Total 27/2
G3	(16)
G4	(11)
G5	(17) ms

Vi Huong P.S.	1,688p
G1	47/2
G2	58/2
G3	59/2
G4	78/3
G5	60/2 Total 302/11



学校名	通学圏域人口(p)
学年(G)	生徒数/クラス数
	他校への通学生 ms本校
---	コミュニティ/学区境界
———	幹線道路
———	道路(車両通行可)
.....	道路(車両通行不可)
~~~~~	主要河川
//////	既存集積
■	本校
■	対象分校
□	その他分校
	通学圏域人口
	100人

Commune		School (本・分校合計)	
面積	50.57km <sup>2</sup>	生徒数合計	284人
人口	2,220人	教員数	14人
人口密度	43.9人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	4.25人	純就学率	98%
少数民族比	85%	退学率(平均)	3%
主要少数民族	Tay(69%)	留年率(平均)	3%
	Dao(16%)	過齡児比率	12%
	Kinh(15%)	女子比率	51%



地域状況

- ・ Bac Can 市内、中心部から10kmに位置する。
- ・ 村域の多くは山地であり、この山と山の合間を国道が縦横に走っている。国道に沿って集落が並んで人口の大半が集中し、全般に交通条件には恵まれている。
- ・ 都市部に近いため、インフラは比較的整っている。
- ・ Tay 及び Dao 族が多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校及び1分校からなる。本校は現在、小中併設校で敷地分割による小中分離が要請されている。また通学圏は国道に沿って最遠4km程度であるが、対象分校からもG2-5が通学している。
- ・ 対象分校は山間部にあり、G1のみ。上級学年は本校に通うが、アクセスが良いため落ちこぼれずに就学している。

教育効率

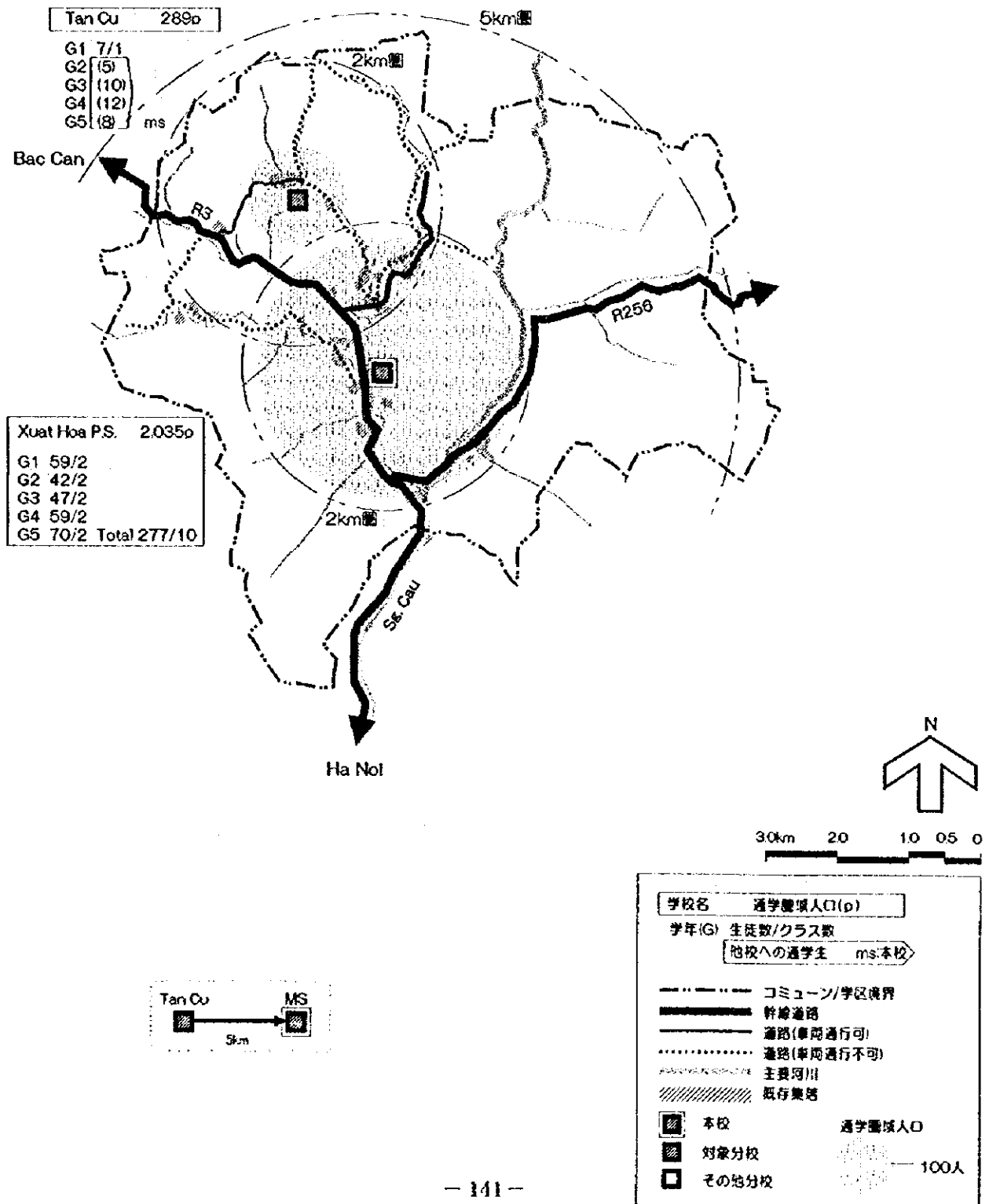
- ・ 就学率は高く、過齡児比率も低い。
- ・ 生徒数はG1→G2で落ち込み、G2→G5で増加している。
- ・ 教育効率は比較的高いが、生徒構成から見て一定の内部滞留が想定される。進級率を上げ、内部効率の一層の向上を図ることが課題である。

サイト状況

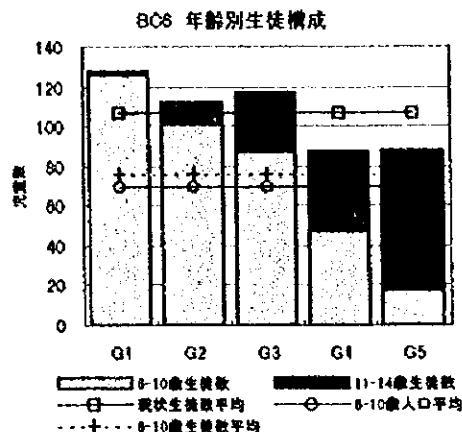
- ・ 本校サイトへは吊り橋による徒歩のアクセスのみで、木造土壁の仮設教室がある。敷地全体が傾斜し、建物配置に沿って一部棚段状になっており、造成の必要が若干ある。
- ・ 対象分校サイトには98年に新築されたレンガ造の教室がある。

計画の考え方

- ・ 本校は全ての施設が仮設建家で老朽化が激しく、緊急な施設環境の改善が必要である。
- ・ 対象分校は近年新設された既存教室があり、距離及び現状通学状況から見て、本校側で上級学年分の施設整備を行うことが効率的である。



Commune		School (本・分校合計)	
面積	66.01km <sup>2</sup>	生徒数合計	532人
人口	2,295人	教員数	22人
人口密度	34.8人/km <sup>2</sup>		
平均世帯規模	4.86人	純就学率	108%
少数民族比	98%以上	退学率(平均)	7%
主要少数民族	Nung(43%)	留年率(平均)	24%
	Tay(31%)	過齡児比率	29%
	Dao(17%)	女子比率	47%



地域状況

- ・ Ngan Son 郡東部、省都から70kmに位置する。Cao Bang 市へ向かう途上の省境にある。
- ・ 村の中央を南北に国道が貫通しており、国道に沿った南部地域に集落が集まっている。国道沿い以外の大半の地域は交通手段のない山間地である。
- ・ Nung 及び Tay 族が多数を占める。

学校運営状況

- ・ 本校及び3分校からなる。本校は現在、小中併設校で敷地分割による分離が要請されている。また通学圏は南部集落で2kmの範囲であるが、分校からも高学年生徒が通学している。
- ・ 分校はいずれも不完全校。対象分校はG1-G3のみで、国道沿いの集落を通学圏とし、他1分校からG2、G3が通う準本校として機能している。

教育効率

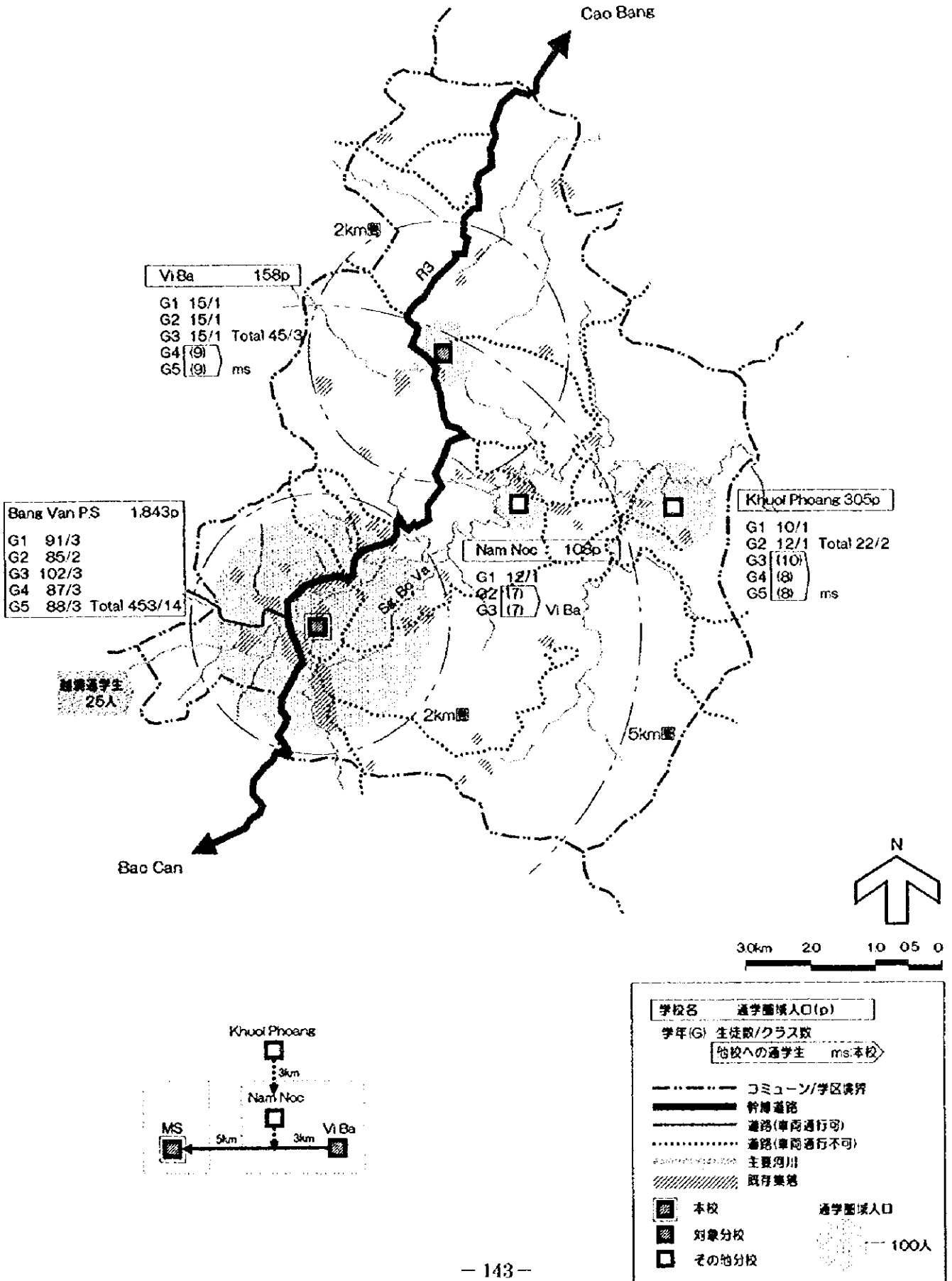
- ・ 就学率は高く、退学率は低い。高学年で過齡児が多く、入学齢の高さと内部滞留が考えられる。
- ・ G4、G5で生徒数が落ち込むが、遠隔地の分校に上級学年がないことが大きな要因となっている。
- ・ 上級学年への進級環境を改善し、内部効率を高めることが課題となる。

サイト状況

- ・ 本校サイトは十分な広さの緩やかな傾斜地。レンガ造の教室棟があるが、著しく疲弊している。造成の必要はない。
- ・ 対象分校は木造竹壁の仮設教室のみ。敷地は中央が盛り上がり、若干の造成が必要となる。

計画の考え方

- ・ 本校は施設の老朽化が激しく、緊急な施設環境の改善が必要である。
- ・ 対象分校は老朽化した施設環境の改善が必要である。また、完全校として増設・整備することで、上級学年への進級率向上が期待できる。





### 3-2-2 協力対象校の選定に係る検討

調査対象として教育訓練省より要請されたサイトは北部山岳地域のハザン、ライチャウ、カオバン、バクカン4省の中から、整備の優先度が高いものとして選定された本校・分校 36 ペアと本校のみ 2 校の 74 サイトである。現地調査はこれに対してさらに代替サイトとして追加要請された分校を含めて実施した。分校サイトの選定に関しては施工上のアクセスが可能であることを求められたことから、他の分校と比べて必ずしも準本校として整備効果が高いとは言えないものも要請に含まれている。また全般に分校敷地は狭小で敷地形状および周辺状況から教室増設の余地が無いものが多い。

協力対象校とするサイトの選定基準は、①建物の劣化および教室不足が著しく施設環境改善の緊急性の高いもの、② 通学区域の 6-10 歳生徒数および現状生徒数にもとづいて算定される計画対象生徒数の増加が大きく、施設増設ニーズの高いもの、③ 遠隔地にあるため本校高学年クラスに通学できない生徒を多く有する分校において、準本校として全 5 学年クラスを整備することにより通学可能な生徒数が増加し、就学率、修了率が向上する効果が高いと期待されるもの、④ 施工上のアクセス・敷地に問題のないサイトであるものと、する。また以上の基準を満たすものの中で計画対象とする生徒数の多い学校を、より優先度の高いものとして選定する。

#### 選定基準と判定指標

以上の選定基準を客観的に示す指標として、以下の 7 項目について判定評価する。

##### 1) 当該分校から本校までの距離

低学年(1、2 年)生徒の通学可能距離は 2~2.5km、高学年生徒は 5km である。5km を超える遠隔地域生徒にとって低学年のみの分校から高学年クラスのある本校に通学できないことが初等教育の修了率向上の妨げとなっている。計画対象とする分校に関して、本校までの距離が遠いほど当該分校地域生徒の就学率、修了率向上の効果が期待される。また当該分校の通学圏域が本校通学圏域と重複しないことが通学状況改善の効果が大きい。当該分校と本校間の距離により、下記区分により評価する。

- A .....本校までの距離が 5km 以上
- B.....本校までの距離が 2km~5km 未満
- C.....本校までの距離が 2km 未満

##### 2) 完全校・不完全校による評価

当該分校が現在、不完全校(低学年のみで全学年揃っていない学校)の場合、これを完全校として全学年を整備することによって当該地域の高学年生徒の通学条件が大きく改善される。また、現在すでに高学年生徒が本校に通学しているか、いないかによって改善効果に違いがあるため、これも区分し評価する。

- A .....不完全校であり、高学年生徒が本校に通学出来ない分校

- B..... 不完全校だが高学年生徒が現在本校に通学している分校
- C..... 現在すでに完全校となっている分校

### 3) 周辺分校配置

当該分校を完全校として整備するに当り、通学可能距離の範囲に他の分校(不完全校)がある場合には周辺通学区域を含めた通学条件の改善が可能となるために、下記の区分で評価する。

- A..... 4km 圏に他の分校がある場合
- B..... 4~8km 圏に他の分校がある場合
- C..... 周辺に他の分校がない場合

### 4) 劣化の度合いによる建替え緊急性

既存教室数のうち、劣化の度合いが著しく建替えを必要とする教室数の割合が下記の区分で多いものがより緊急性が高いものとして ABC で評価する。

- A..... 75%以上の場合
- B..... 50%以上 75%未満の場合
- C..... 50%未満の場合

### 5) 教室の不足度

教室の不足度を測る指標として、現在の教室数に対してクラス数がどの程度これを上回っているかの観点から不足度を測るものとし、下記区分で数値の高いものがより不足度が大きいものとして ABC で評価する。クラス数/教室数比が 2.0 以上となるものは 3 部授業となるため不足解消の緊急性は極めて高いものとなる。

なお、小中併設校では午前中を中等教育、午後を初等教育として運営しており、それぞれは 1 部授業であるが実質上は 2 部授業となっている。このため小中併設校はクラス数/教室数比が 2.0 以上のものと同等に、不足度が高いものとして判定する。

- A..... 借用教室または小中併設、クラス数/教室数比が 2.0 超
- B..... クラス数/教室数比が 1.5 を超え、2.0 未満の場合
- C..... クラス数/教室数比が 1.5 以下の場合

当該分校の通学状況の改善効果に関しては以下の指標で評価する。

### 6) 計画対象生徒数の規模

対象とする本校、分校の計画対象生徒数は数十人から 1000 人以上の規模までであるが、概ね 250 人前後の学校が多い。裨益対象数の多寡を視る観点より、計画対象生徒数の多いものほど優先順位が高いものとして下記区分により評価する。

- AAA ..... 700 人以上
- AA ..... 500 人以上

- A .....300 人以上
- B.....100 人以上 300 人未満
- C .....100 人未満

#### 7) 収容生徒数の増加数

当該通学地域の現状生徒数と潜在生徒数(=6-10 歳児童数)にもとづく計画対象生徒数とを比較し、計画対象生徒数の増加が多いもの程優先順位が高いものとして下記区分によりABCで評価する。

- A .....50 人以上増加する
- B.....20 人以上 50 人未満
- C .....20 人未満

#### 8) その他の指標

以上の判定指標の他に、計画評価に係る指標として各対象校の一般状況に関し下記の指標に留意する。

- 当該校の所在する村がベトナムの「最貧困 1,000 村」に該当するか否か
- 生徒数のうちに占める少数民族出身者の比率
- 本校・分校別の女子生徒数の占める割合
- 現状教員数の過不足状況
- 総就学率、純就学率、推計退学率
- 生徒のうち 11--14 歳児の占める割合
- 対象通学区域の 5 年後の学齢児童の増減率

計画実施上で留意する事項として、敷地状況に係る問題の有無・多寡を比較する。

- 敷地形状による建設の可否
- 敷地使用权の有無
- 施工車両による資機材搬入の難易度
- 敷地造成工事の有無
- 既存施設撤去の必要の有無
- 建設に際し、代替教室確保の可否

以上の評価基準による各サイト評価判定一覧表を表 3-1 に示す。

評価判定の結果、協力対象として選定するに妥当と判断されるサイトは表 3-2 に示すように、本校については、37 サイト、分校については 24 サイトの合計 61 サイトである。これらは整備対象としての緊急性と必要性が高く、かつ実施の効果が期待されるものであるとともに、敷地状況からも施工が可能であり、無償資金協力として実施する妥当性が確認できるものである。

表3-1-1. サイトの選定

No. 学校名	1. 学校配置			2. 緊急性			3			分校のスクリーニング			本校のスクリーニング		
	本分校距離 (A:5km以上、B:2km超5km未満、C:2km以下)	高学年クラス (A:なし、B:本校に通学、C:ある)	周辺分校配置 (A:4km圏にあり、B:4-8km圏にあり、C:なし)	老朽建替の緊急性 (A:老朽75%、B:50-75%、C:50%未満)	教室不足度 (A:借併用またはクラス/教室>=2.0、B:1.5-2.0、C:1.5以下)	敷地条件 (○:問題なし、×:狭小かつ拡張不可)	計画生徒数	収容生徒数の増減 ※本校の増減は分校を協力対象としたときの数字。(A:増減>=50、B:20-49、C:<20)	収容生徒数増加率	老朽建替の緊急性 (A:老朽75%、B:50-75%、C:50%未満)	教室不足度 (A:借併用またはクラス/教室>=2.0、B:1.5-2.0、C:1.5以下)	貧困村に該当するか	計画生徒数	収容生徒数の増減 ※本校の増減は分校を協力対象としたときの数字。(AAA:生徒数>=700、AA:>=500、A:>=300、B:100-299、C:<100)	本校のスクリーニング
Ha Giang															
HG.1 1-5 Vi Xuyen	C	B	C	A	B	×	830 AAA	90 A	12% A	A B	-	○	い	○	生徒数規模極めて大、生徒数増加も大きい。
Km 23 Vi Xuyen	B	C	A	A	A	○	324 A	132 A	69% A	A A	-	○	○	○	小中分離に伴う新サイト移転
HG.2 Dao Duc	B	C	A	A	A	○	235 B	91 A	63% A	A B	-	○	○	○	生徒数規模、生徒数増加、ともに大きい。
Km 9 Leng Nung	B	C	A	A	A	○	519 AA	62 A	14% A	A B	-	○	○	○	生徒数規模極めて大、生徒数増加も大きい。
HG.3 Tan Nam	B	B	C	A	B	○	135 B	59 A	78% A	A B	-	○	○	○	生徒数規模極めて大、生徒数増加も大きい。
Ngoi Ham	B	B	C	A	B	○	880 AAA	127 A	17% A	A B	-	○	○	○	生徒数規模極めて大、生徒数増加も大きい。
HG.4 Vinh Phuc	A	C	C	A	B	○	510 AA	4 C	1% A	A B	-	○	○	○	生徒数規模極めて大、生徒数増加も大きい。
Vinh Thanh	A	C	C	A	B	○	304 A	59 A	24% A	A B	-	○	○	○	生徒数増加大きく、増加率高い
HG.5 Quang Ba	B	B	A	A	C	○	127 B	44 B	53% A	A C	-	○	○	○	生徒数増加大きく、増加率高い
Bao An	A	A	A	A	C	○	203 B	63 A	45% A	A C	-	○	○	○	計画生徒数規模は小さい。増加率は大きい。
HG.6 Minh Son	A	A	A	A	C	○	82 C	47 B	134% A	A C	-	○	○	○	計画生徒数規模は小さい。増加率は大きい。
Bo Peng	A	A	A	A	C	○	336 A	16 C	5% A	A C	-	○	○	○	小中分離に伴う敷地分割
HG.7 Mau Due	B	A	A	A	C	○	124 B	68 A	121% A	A C	-	○	○	○	生徒数増加大きく、増加率高い
Ngam Sooc	B	A	A	A	C	○	162 B	73 A	82% A	A C	-	○	○	○	生徒数増加大きく、増加率高い
HG.8 Xa Phin	B	A	A	A	C	○	161 B	101 A	168% A	A C	-	○	○	○	生徒数増加大きく、増加率高い
Lung Hoa A	B	A	A	A	C	○	167 B	68 A	69% A	A C	-	○	○	○	生徒数増加大きく、増加率高い
Po Lo	B	B	A	A	C	○	118 B	77 A	188% A	A C	-	○	○	○	生徒数増加大きく、増加率高い
Coc Sooc	B	B	C	C	C	○	367 A	212 A	137% A	A C	-	○	○	○	生徒数増加大きく、増加率高い
HG.10 Then Phang	B	B	C	C	C	○	490 A	193 A	65% B	A A	-	○	○	○	小中分離に伴う新サイト移転
Khau Tao	B	B	C	C	C	○	110 B	40 B	57% B	A C	-	○	○	○	生徒数規模大きい。
Lai Chau	C	B	C	A	A	○	537 AA	28 B	6% A	A C	-	○	○	○	生徒数規模大きい。
Muong Te Town	A	A	B	C	A	×	919 AAA	86 A	10% A	A C	-	○	○	○	生徒数規模極めて大きい、生徒数増加も大きい。
Lai Chau	A	A	B	C	A	×						×			



No. 学校名	1. 学校配置			2. 緊急性			3. 分校のスクリーニング			4. 増減効果			5. 緊急性			本校のスクリーニング		
	本分校距離 (A:5km以上, B:2km超5km未満, C:2km以下)	高学年クラス (A:なし, B:本校に通学, C:ある)	周辺分校配置 (A:4km圏にあり, B:4-8km圏にあり, C:なし)	教室不足度 (A:借併用またはクラス/教室>=2.0, B:1.5-2.0, C:1.5以下)	老朽建替への緊急性 (A:老朽75%, B:50-75%, C:50%未満)	敷地条件 (O:問題なし, X:狭小かつ拡張不可)	*1 計画サイトにおける緊急度、不足度。 *2 隣村の分校から吸収	計画生徒数 (AAA:生徒数>=700, AA:>=500, A:>=300, B:100-299, C:<100)	収容生徒数の増減 ※本校の増減11分校を協力対象としたときの数字。 (A:増減>=50, B:20-49, C:<20)	収容生徒数増加率	老朽建替への緊急性 (A:老朽75%, B:50-75%, C:50%未満)	教室不足度 (A:借併用またはクラス/教室>=2.0, B:1.5-2.0, C:1.5以下)	貧困村に該当するか	小中分離に伴う敷地分割	小中分離に伴う敷地分割	小中分離に伴う敷地分割		
CB.6 Cao Chuong Lung Hang	B	A	C	A	C	O	X	337 A	7 C	2%	A	-	O	小中分離に伴う敷地分割				
CB.7 Quang Han Ban Mac	B	B	C	A	B	O	O	309 A 135 B	-85 C 51 A	-10% 61%	A	-	O	小中分離に伴う敷地分割				
CB.8 Phuc Sen Ban Cao	B	B	C	A	A	O	O	310 A 145 B	-110 C 113 A	-26% 353%	B	A	-	O	小中分離に伴う新サイテ移動			
CB.9 Lac Giao Chi Thao	A	C	C	A	C	O	O	275 B 260 B	26 B 0 C	10% 0%	A	-	O	生徒数増加率が高い				
CB.10 Thong Hue Cao Chia	B	B	C	C	C	O	X	568 AA	60 A	12%	B	A	-	O	生徒数規模、生徒数増加、ともに大きい。			
CB.11 Trung Khanh Town Kao Lum	C	B	C	A	C	O	X	1,145 AAA	183 A	19%	C	A	-	O	生徒数規模極めて大きく、生徒数増加も大きい。			
本校...7																		
BC.1 Binh Trach Na Nieng	B	B	A	A	C	O	O	201 B 143 B	11 C 32 B	6% 29%	A	A	-	O	小中分離に伴う敷地分割			
BC.2 Binh Trung Ban Ca	A	B	C	C	C	O	X	291 B	6 C	2%	A	A	-	O	小中分離に伴う敷地分割			
BC.3 Nhu Co 2 Nhu Co 1	A	C	B	A*1	C	O	O	210 B 236 B	1 C 13 C	0% 6%	C	A	-	O	小中分離に伴う敷地分割			
BC.4 Vi Huong Dia Cat	B	B	A*2	A	C	X	X	335 A	33 B	11%	A	A	-	O	生徒数増加率が高く、老朽緊急性も高			
BC.5 Xuat Hoa Tan Cu	A	B	C	C	C	O	X	281 B	4 C	1%	B	A	-	O	小中分離に伴う敷地分割			
BC.6 Bang Van Vi Ba	A	B	A	A	C	O	O	446 A 74 C	-7 C 29 B	-2% 64%	B	A	-	O	小中分離に伴う敷地分割 計画生徒数規模は小さい。増加率は大きい。			
本校...6, 分校...3																		
合計 本校...37, 分校...24																		

表 3-2:協力対象校

No.	所在郡	本校名	分校名
ハザン省(10本校、8分校)			
HG.1	Vi Xuyen	1-5 Vi Xuyen	
HG.2	Vi Xuyen	Dao Duc	Km 9 Nung commune
HG.3	Bac Quang	Tan Nam	Ngoi Ham
HG.4	Bac Quang	Vinh Phuc	Vinh Thanh
HG.5	Quan Ba	Quan Ba Town	Bao An
HG.6	Bac Me	Minh Son	Bo Peng
HG.7	Yen Minh	Mau Duc	Ngam Sooc
HG.8	Dong Van	Xa Phin	Long Hoa A
HG.9	Hoan Su Phi	Po Lo	Coc Sooc
HG.10	Xin Man	Then Phang	
ライチャウ省(11本校、6分校)			
LC.1	Muong Te	Muong Te Town	Nam Cau A
LC.2	Tuan Giao	Binh Minh	
LC.3	Tuan Chua	Muong Bang	
LC.4	Dien Bien	Noong Het	Ban Phu
LC.5	Dien Bien	Thanh Hung	
LC.6	Phong Tho	Tam Duong	
LC.7	Phong Tho	Binh Lu	Hoa Van
LC.8	Tuan Giao	Quai Nua	Ban Tra
LC.9	Muong Lay	Muong Muon (main school)	Muong Muon (branch) Na Sang
LC.10	Shin Ho	Ta Ngao	
LC.11	Shin Ho	Phan Xu Lin	
カオバン省(10本校、7分校)			
CB.1	Ha Quang	Soc Giang	Truc Long
CB.2	Nguyen Binh	Nguyen Binh Town	Na Con
CB.3	Nguyen Binh	Lang Mon	Na Bao
CB.4	Hoa An		Khu May Keo
CB.5	Hoa An	Be Trieu	
CB.6	Tra Linh	Cao Chuong	
CB.7	Tra Linh	Quang Han	Ban Mac
CB.8	Quang Hoa	Phuc Sen	Ban Gao
CB.9	Quang Hoa	Lac Giao	Chi Thiao
CB.10	Trung Khanh	Thong Hue	
CB.11	Trung Khanh	Trung Khanh Town	
バクカン省(6本校、3分校)			
BC.1	Ba Be	Banh Tranh	Na Nieng
BC.2	Cho Don	Binh Trung	
BC.3	Cho Moi	Nhu Co 2	Nhu Co 1
BC.4	Bach Thong	Vi Huong	
BC.5	Bac Can Town	Xuat Hoa	
BC.6	Ngan Son	Bang Van	Vi Ba
合計(37本校、24分校)			